



株式会社チノー
(東証プライム: 6850)

2026年3月期 第2四半期
会社・決算説明資料

チノーは水素を「使う・作る」システムの評価装置を製造

目次

》 1. チノーグループの概要	P 2
》 2. 事業の概要	P 9
》 3. チノーの強み	P16
》 4. ソリューション事例	P21
》 5. 決算概要	P32
》 6. 今後の取組み	P38
》 7. トピックス	P46
》 8. 株主還元等	P51
》 Appendix	P58

» 1. チノーグループの概要

CHINO



会社概要

会 社 名	株式会社チノー CHINO CORPORATION
本 社	東京都板橋区熊野町32-8
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 豊田三喜男
事 業 内 容	計測制御機器の製造・販売、計装工事
会 社 設 立	1936年8月1日
株 式	東京証券取引所 プライム市場
従 業 員 数	連結：1,093名 単体：678名 (2025年3月末現在)
グ ル ー プ 会 社	12社 (国内 6社、海外 6社)

当社の生産拠点・販売拠点

生産拠点 (3拠点)



藤岡事業所



記録計、調節計、サイリスタレギュレータなどの計測制御機器、
計装システム、水分・厚さ計の開發生産

久喜事業所



放射温度計、温度・湿度など各種センサ
の開發生産

山形事業所



熱画像センサ、ハンディロガー、
無線温湿度ロガー、酸素計、CO₂モニタ
の開發生産

販売拠点 (3支店<16営業所>)



東日本支店
大阪支店
名古屋支店

(8営業所・1出張所)
(5営業所・1分室)
(3営業所)

国内グループ会社（6社）

株式会社チノーソフテックス



ソフトウェア等の
制作販売

アース株式会社



センサネットワーク製品開発、
販売、各種IP開発

株式会社浅川レンズ製作所



光学機器の設計、製作
ならびに販売

アドバンス理工株式会社



熱分析・熱物性測定機器、
赤外線加熱関連機器等の
製造販売

三基計装株式会社



産業用最適空気環境装置、植
物工場製作と電気計装工事

明陽電機株式会社



船舶エンジン用温度センサ、
船舶搭載機器の製造販売

海外グループ会社（6社）

顧客密着で現地ニーズに基づく製品を開発・生産して販売する“地産地消”を推進。

海外拠点数

6 拠点
(5か国)

CHINO Corporation India Private Limited



計測制御機器、
センサ等の製造販売

千野測控設備（昆山）有限公司



計装システム、計測制御機器の
製造販売

CHINO Corporation (Thailand) Limited



計測制御機器、
センサ等の製造販売

韓国チノー株式会社



計測制御機器、センサ、
計装システムの製造販売

CHINO Works America Inc.



計測制御機器、
センサ等の販売

沿革



企業理念

計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、
産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する

創立90周年（2026年）に向けた経営ビジョン



共創 環境の変化を捉えながらステークホルダーと共に
新しい価値を創造します

特長 卓越した技術によるループソリューションで
お客様に感動をお届けします

信頼 信頼の“絆”を強め 情熱とチームワークで
未来に向かって成長し続けます

» 2. 事業の概要

CHINO



当社グループの事業セグメント

事業セグメント		主な製品
計測制御機器	プラントや工場などの様々な製造現場の基盤を支える、温度などの記録、制御に必要な記録計・調節計・電力調整器・口ガード等を提供	<ul style="list-style-type: none">記録計調節計電力調整器口ガード
計装システム	計測、制御、監視技術を活かし、お客様の目的に合わせた計測制御機器などをコーディネートする計装システムを提供 各種評価試験装置・パッケージソフトを提供	<ul style="list-style-type: none">評価試験性能耐久試験集録監視パッケージシステム
センサ	接触型温度センサ、赤外線技術を応用した放射温度計・熱画像計測装置・湿度センサ・成分計を提供	<ul style="list-style-type: none">温度湿度成分水分厚さ計測温度校正
その他	修理・サービスを提供	

<計測制御機器>

主な製品 >>

記録計

調節計

電力調整器
(サイリスタレギュレータ)

口ガー

記録計

調節計

電力調整器
(サイリスタレギュレータ)

無線口ガー



温度を記録する

温度を制御する

電力を調整する

温度を計測・管理する

<計装システム>

主な製品 >>

燃料電池 評価試験装置



燃料電池自動車等
が効率よく電気を
起こしているかを
評価する装置

水電解評価装置



水を水素と酸素に
電気分解して、
効率よく水素を取
り出せるかを評価
する装置

評価試験

性能・耐久試験

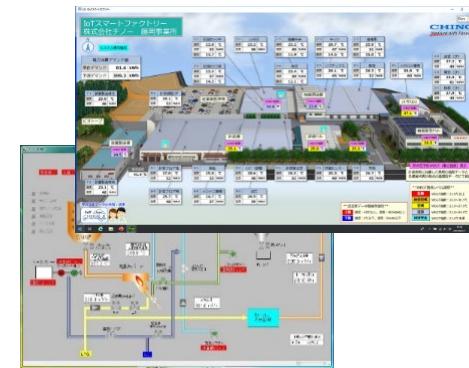
集録・監視パッケージシステム

コンプレッサ 性能試験装置



エアコン<自動車・
家電>のコンプレッサ
性能・耐久試験装置

集録・監視パッケージ システム (CISAS 5)



各種装置・設備など
のデータをパソコン
で集録・監視を行う
システム

<センサ>

主な製品 >

温度

湿度

成分・水分・厚さ計測

温度校正

高温用シース 熱電対



放射温度計 熱画像計測装置



赤外線多成分計



温度校正装置



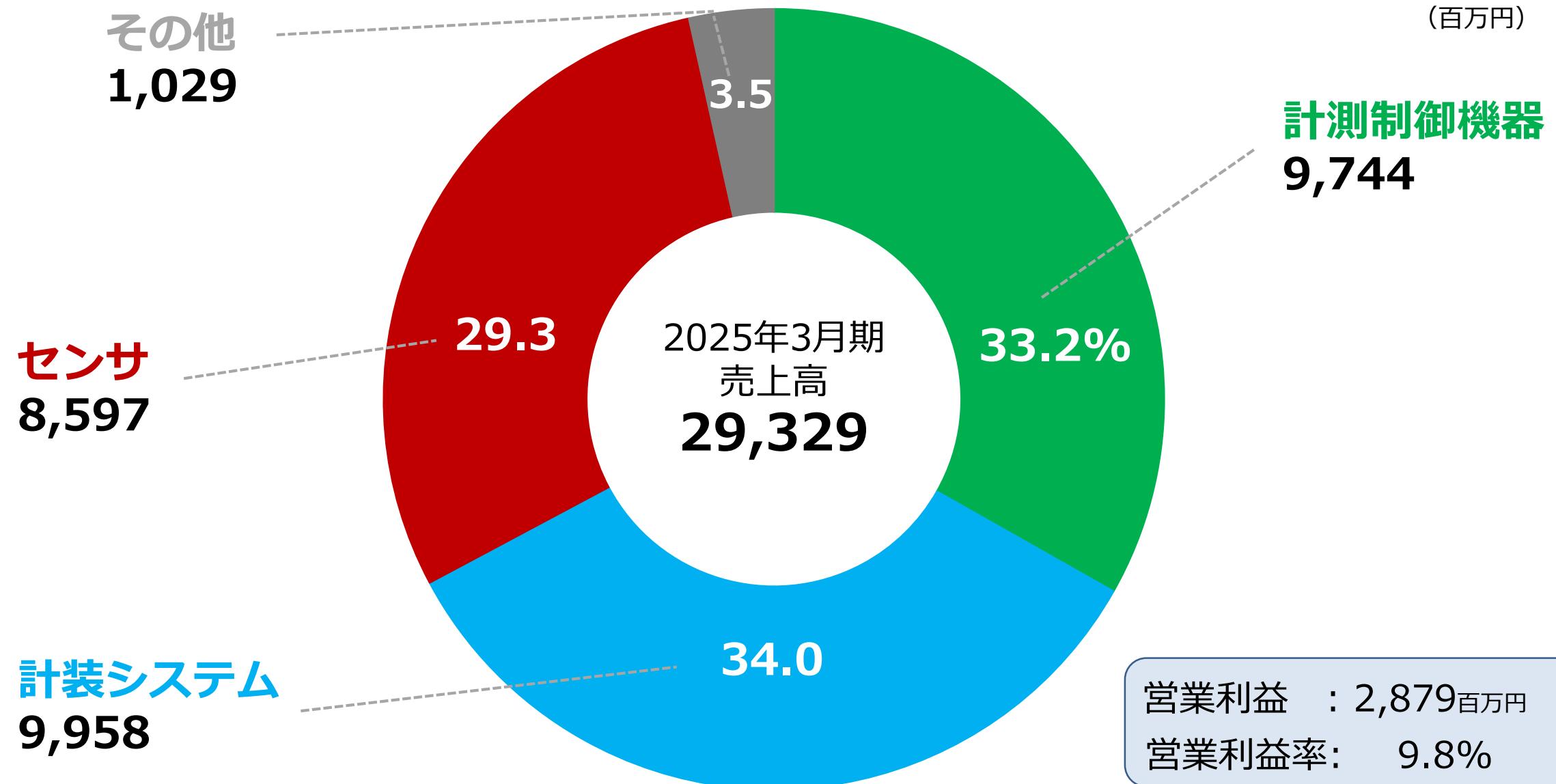
接触形温度センサ

赤外線技術を応用
した**非接触形**温度
センサ

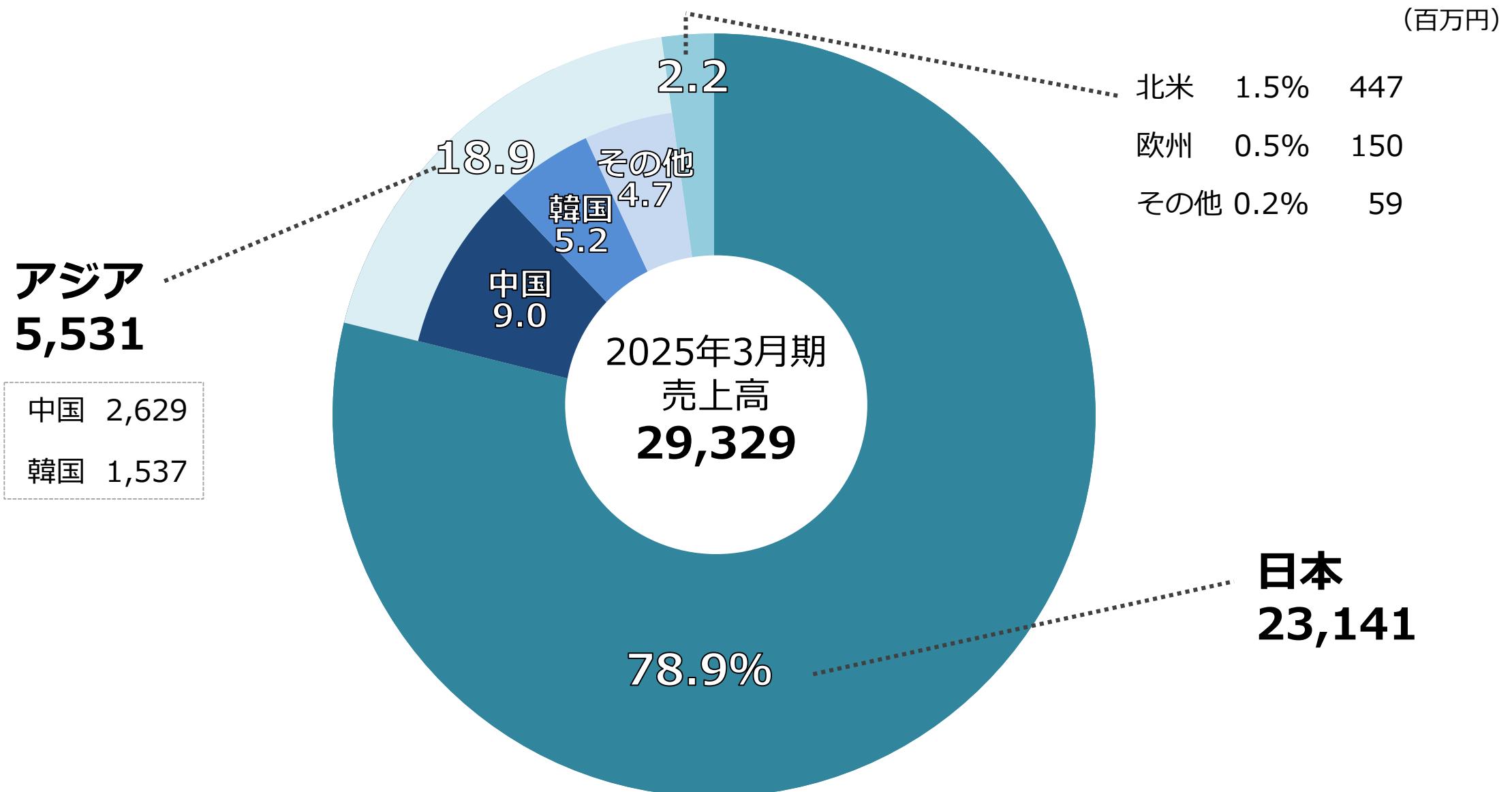
赤外線技術による
計測器<水分・
フィルム厚さ・
塗工厚さ>

温度センサの温度
誤差を点検する装置

セグメント別売上高



地域別売上高



» 3. チノーの強み

CHINO



事業の特長 ループソリューションによる顧客価値の創造

高精度な制御を
実現する
プロセス制御技術

計測

制御

監視

極低温から超高温まで計測可能な
温度センシング技術

計測・制御・監視を
一括管理する
ソフトウェア開発技術

独自の技術の創出

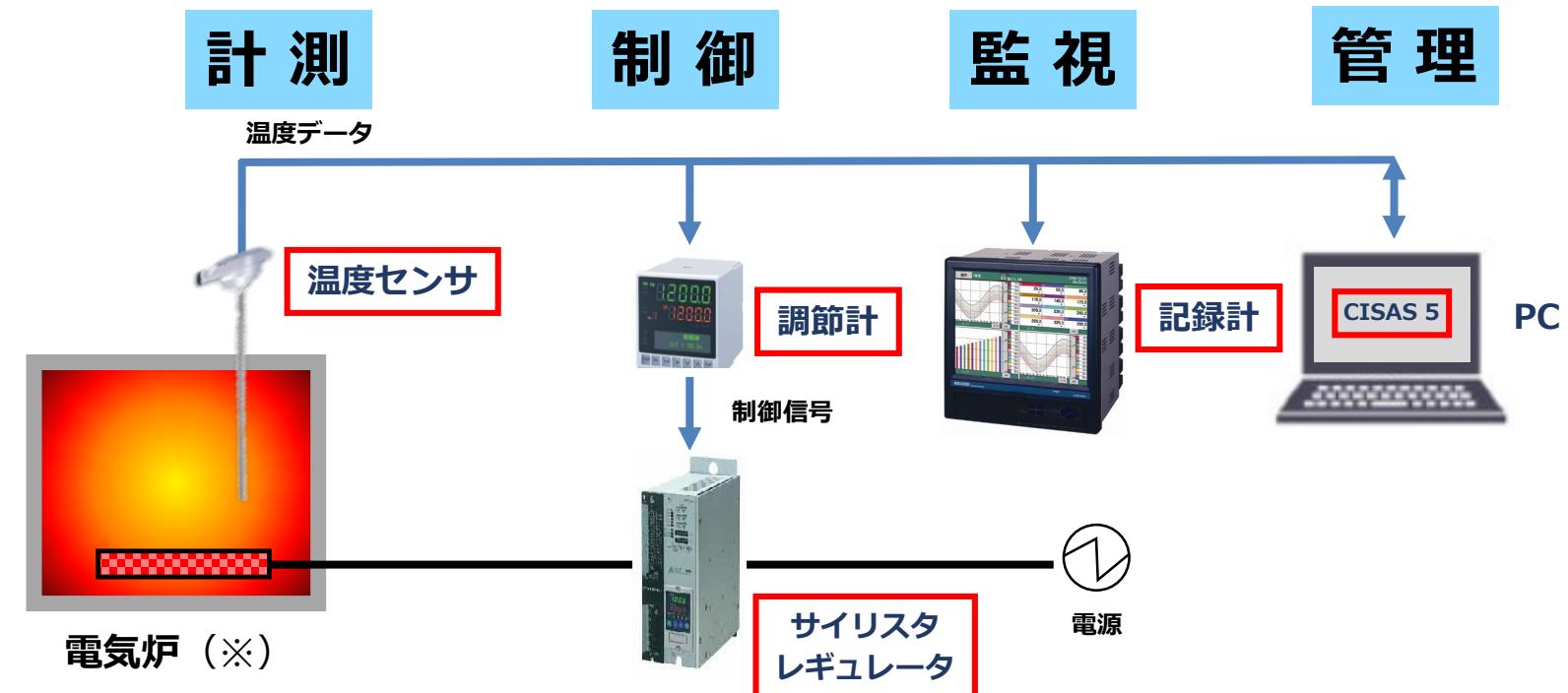
あらゆる産業のお客様の課題を解決する
ループソリューション®
を提供

1936年の設立以来
「計測・制御・監視」
の領域において、
あらゆる産業分野の発展に
貢献してまいりました。

ループソリューションとは

お客様の様々なニーズに合わせ、計測・制御・監視の製品を組み合わせた**温度の“ループソリューション®”**をワンストップで提供しています。
これは**他社にはない当社の特長**になります。

電気炉の温度制御



※電気炉：電気を利用して金属等の材料を加熱する装置

: 当社製品

校正事業、標準温度センサ（世界29か国で採用）

お客様のセンサや自社生産したセンサの温度の誤差を把握する（校正）事業を行っており、当社は国に認められたJCSS（計量法事業者登録制度）の登録事業者として、国際的なトレーサビリティの証明となる証明書を発行することができます。また当社は世界の国家計量機関（世界29か国）に標準温度センサを提供しています。



JCSS
JCSS 0024

株式会社チノー標準技術部は、認定基準として ISO/IEC17025 を用い、認定スキームを ISO/IEC17011 に従って運営されている JCSS（計量法校正事業者登録制度）の下で認定されています。JCSS の認定機関である IAJapan は、アジア太平洋認定協力機構（APAC）及び国際試験所認定協力機構（ILAC）の相互承認に署名しています。0024は当社標準技術部の登録番号です。

標準温度センサ

（「温度誤差把握の基準」となる温度センサ）



標準白金測温抵抗体／熱電対



標準用放射温度計

国家計量機関納入実績



世界29か国で 標準温度センサ として採用

世界の国家計量機関に標準温度センサを
提供し、**温度標準分野**で大きな評価

温度ループ ソリューション

お客様のニーズに最適な
温度ループソリューション
(計測・制御・監視の一元管理)
をワンストップ提供

極低温から超高温 までの温度測定

– 269°Cから3,500°C

までの温度を計測

※放射温度計のトップメーカー

脱炭素社会 実現に貢献

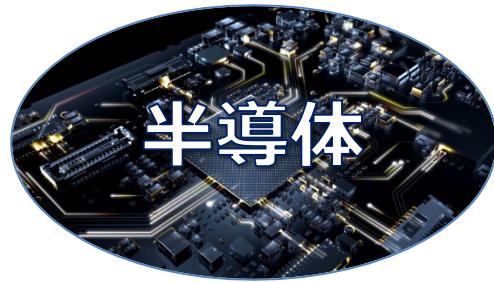
「燃料電池（水素を使う）」
「水電解（水素を作る）」の
研究開発用の試験装置を提供し、
社会のサステナビリティに貢献

» 4. ソリューション事例

CHINO



産業別ソリューション



半導体

製造プロセスにおける高温・高速の温度計測・制御



医薬

医薬品保管庫の温度計測・監視



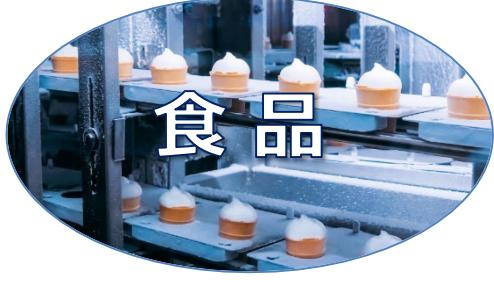
エネルギー

太陽電池製造プロセスの温度管理、燃料電池性能評価装置の提供



鉄鋼

赤外線を利用した温度計測・監視



食品

各プロセス（製造～流通）の温度計測・記録



新素材

新素材（航空機等）の加工における温度計測・制御



自動車

部品製造工程の温度管理、コンプレッサ性能評価装置の提供



アグリビジネス (農業)

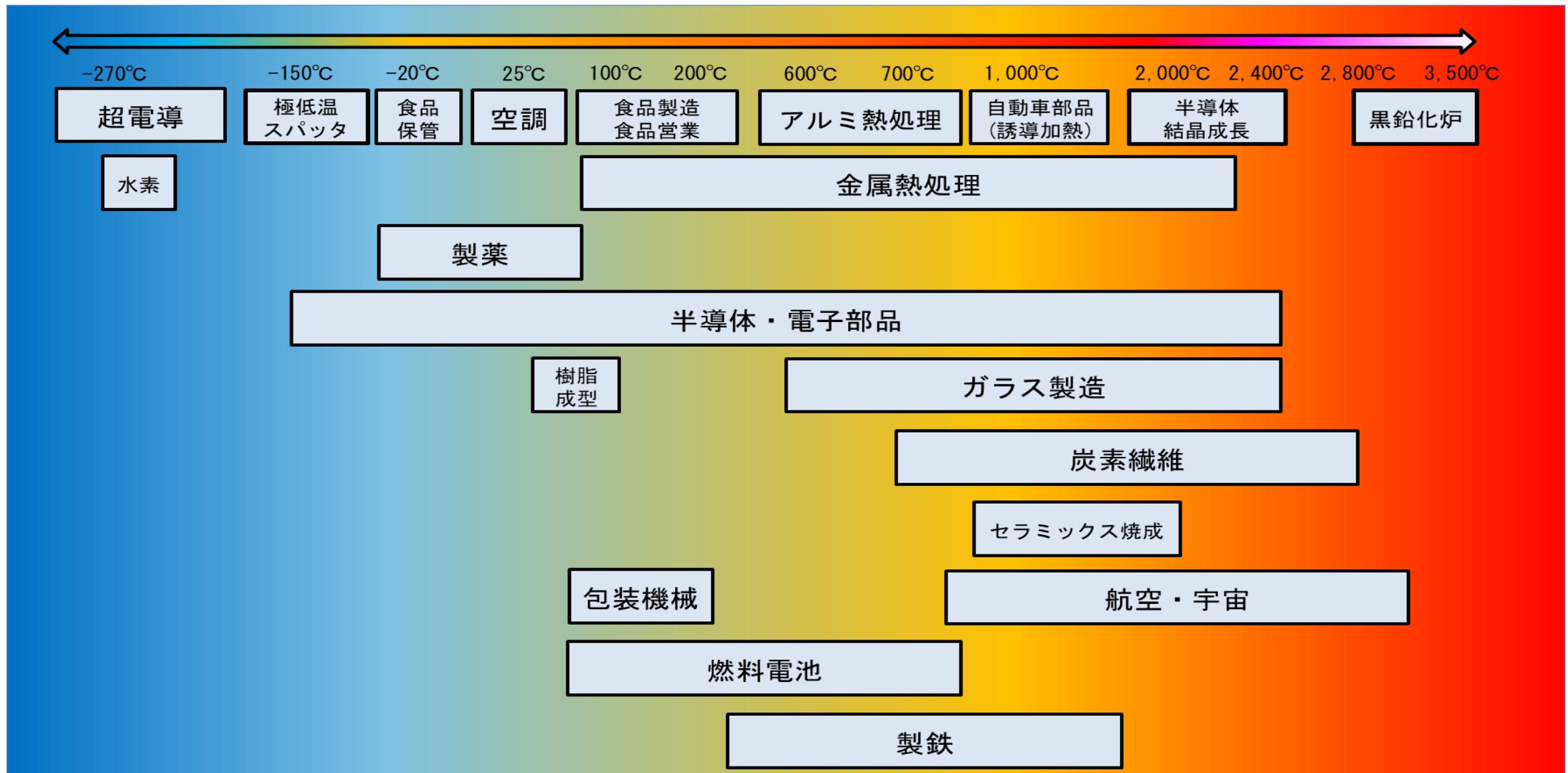
園芸施設の温湿度の計測・可視化



ガラス

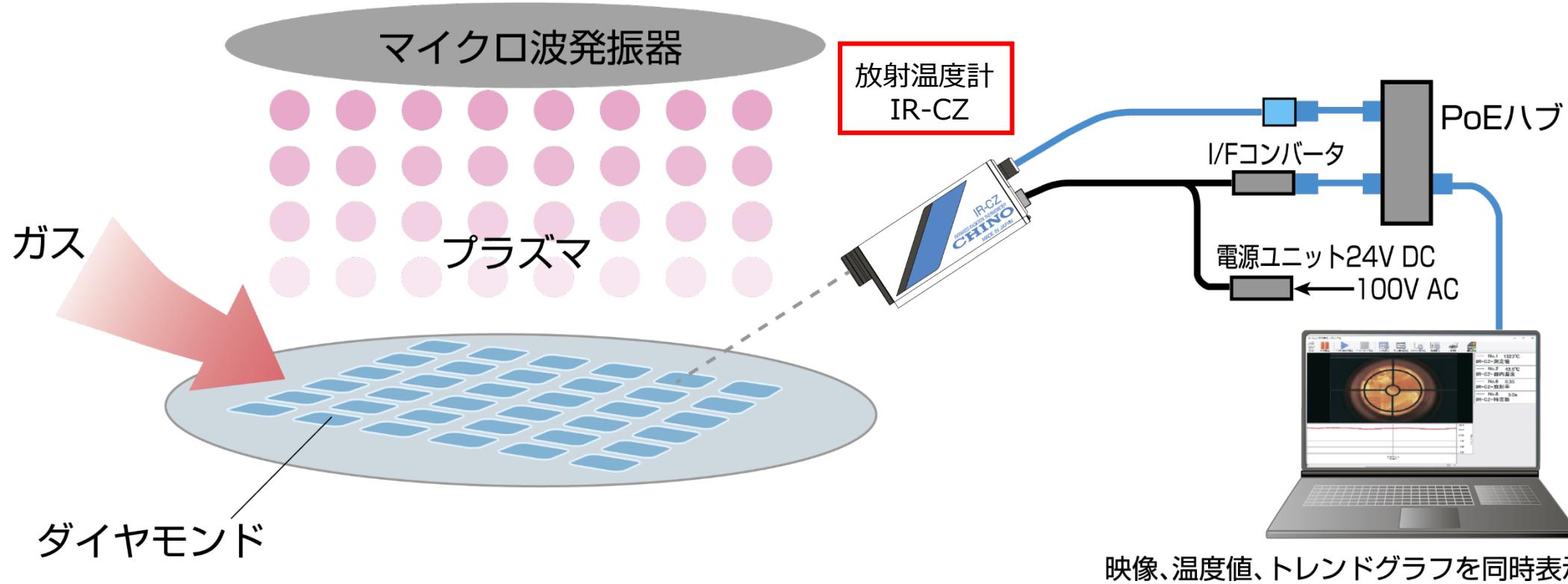
製造ラインにおける温度計測

温度帯別ソリューション



半導体関連（人工ダイヤモンド生成時の温度監視）

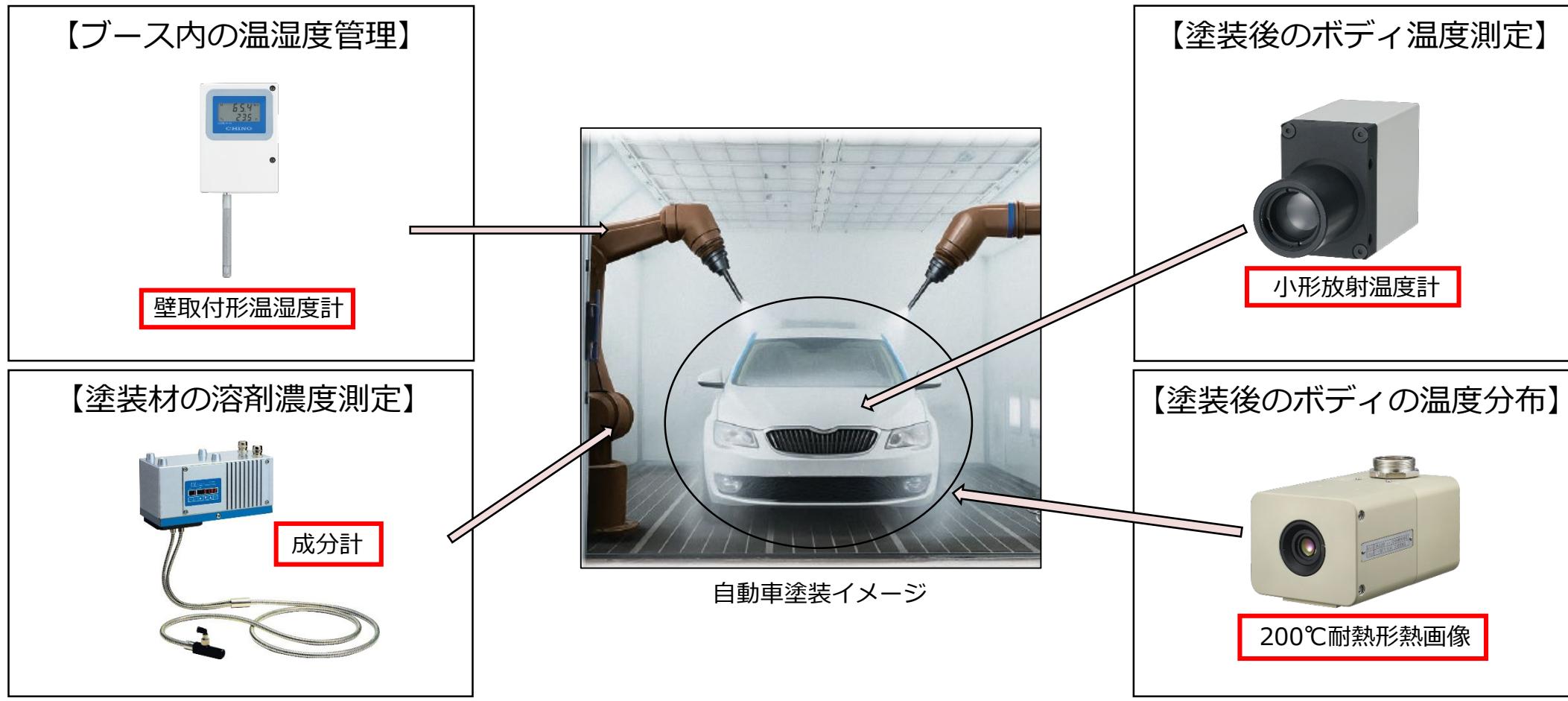
放射温度計で人工ダイヤモンド生成時の温度監視を行い、人工ダイヤモンドの品質向上に貢献しています。



 : 当社製品

自動車関連（塗装ムラ防止）

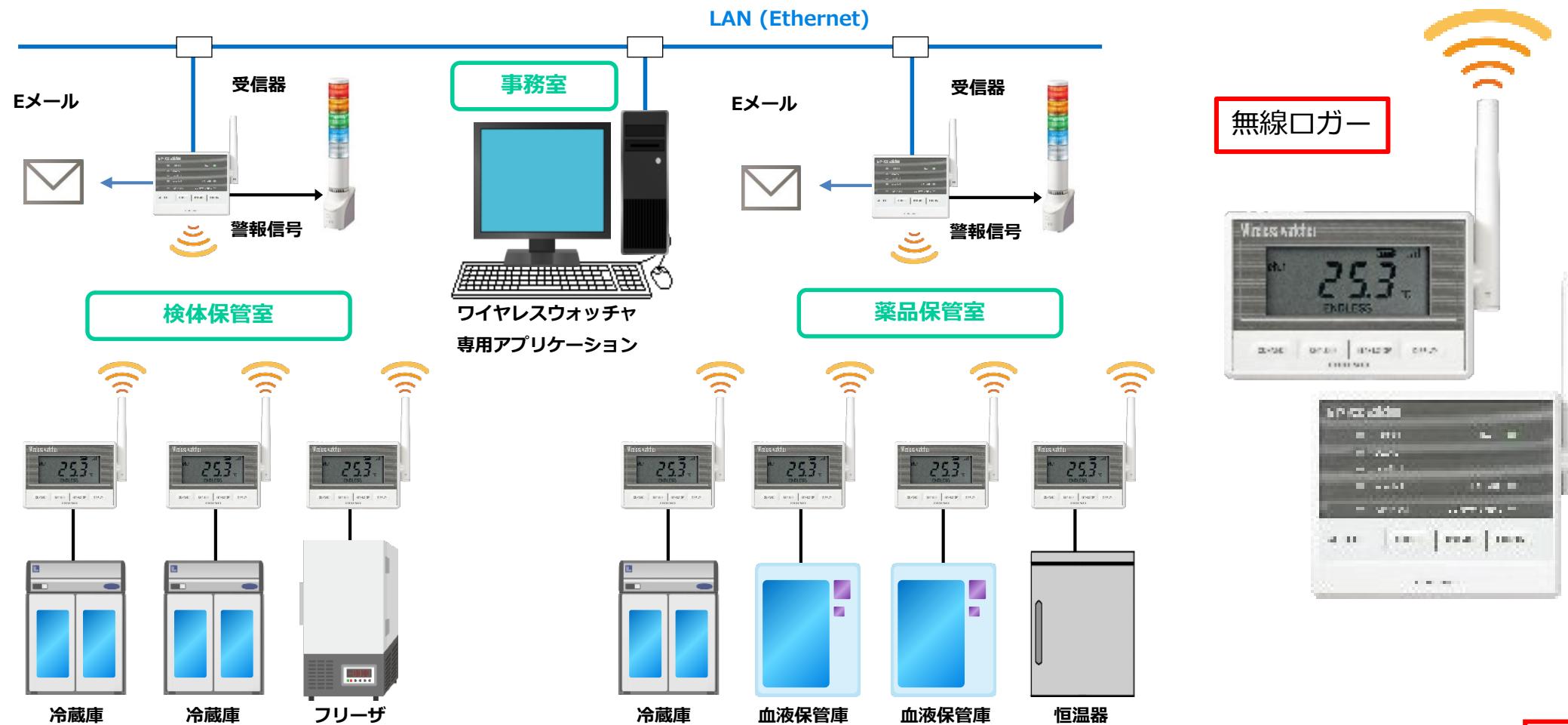
温湿度計で自動車の塗装ムラ防止を行い、自動車製造における歩留まり改善・不良削減に貢献しています。



□ : 当社製品

医薬品関連（血液保管庫の温度監視）

血液センター内の血液保管庫等の温度監視、データ保管を行い、血液／血液製剤の安全保管に貢献しています。



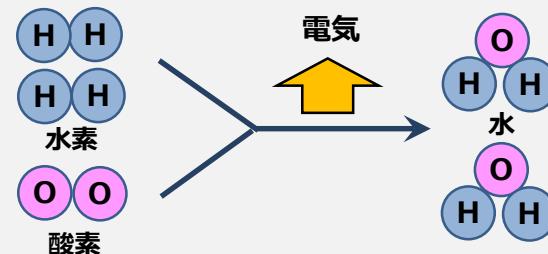
□ : 当社製品

水素関連① (水素を「使う」)

水素を「使う」システムの評価装置を提供しています。

- ・燃料電池自動車等が効率よく電気を起こしているかを評価する装置
- ・1995年から顧客の研究開発用に販売し、**30年近いノウハウの蓄積がある**
(業界標準の地位を確保)

水素を「使う」：燃料電池



燃料電池評価試験装置

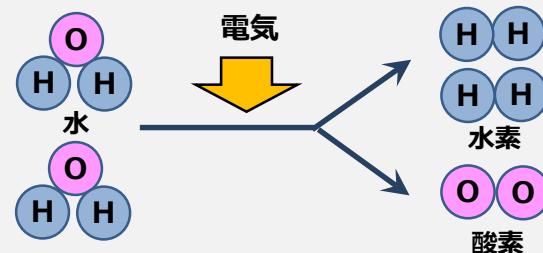
□ : 当社製品

水素関連② (水素を「作る」)

水素を「作る」システムの評価装置を提供しています。

水を水素と酸素に電気分解して、効率よく
水素を取り出せるかを評価する装置

水素を「作る」：水の電気分解



水電解評価装置

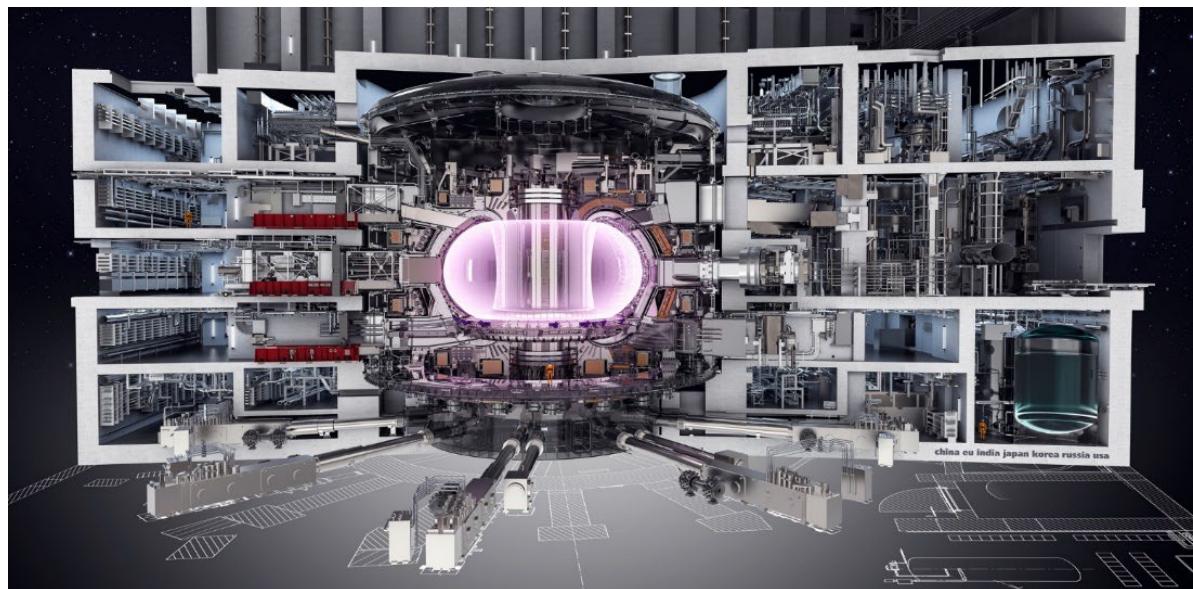
＜参考動画＞



□ : 当社製品

核融合発電時の温度監視を当社の高温計測技術で行い、次世代エネルギーの実現に貢献しています。

＜核融合のイメージ＞



©ITER Organization



放射温度計
IR-CZ

□: 当社製品

エネルギー関連 (バイオエタノール製造)

赤外線水分計でバイオエタノール製造時の水分管理を行い、バイオエタノールの品質管理と製造効率に貢献しています。



バイオエタノールプラント (イメージ)



赤外線水分・厚さ計
IR-MA

□: 当社製品

その他のソリューション事例

その他のソリューション事例はAppendixに記載しております。
また、当社のホームページに掲載されています。



SOLUTION ソリューション

- 半導体
- 電子部品
- 熱処理・鉄鋼
- 自動車
- 航空機
- 脱炭素・エネルギー**
- 化学
- 医薬
- 食品
- IoT
- その他

詳しく見る



脱炭素・エネルギー

脱炭素・エネルギーソリューションは、炭素排出を削減または排除しながらエネルギーを供給するための取り組みや技術を指します。再生可能エネルギー、エネルギー効率の向上、炭素捕捉と貯留、バイオエネルギーなど持続的でカーボンニュートラルな社会の実現の発展に貢献する事例をご紹介します。

プロセス・使用例

- 脱炭素
 - リチウムイオン電池 電極スラリー
 - 接着剤塗布量計 IRMT03
 - SOEC/SOFC評価用セラミックホルダ
 - 水電解評価試験
 - 改質器対応SOFC評価試験装置

» 5. 決算概要

CHINO



決算ハイライト

2026年3月期 第2四半期 連結業績

受注高



14,378百万円

前年同期比 11.2 %増



売上高



14,187百万円

前年同期比 7.8 %増



- 受注高は、脱炭素関連の需要が継続するとともに、センサセグメントの需要が増加
- 売上高は、当社顧客の設備投資が堅調に推移し増収

営業利益



917百万円

前年同期比 14.0%減



経常利益



960百万円

前年同期比 16.0%減



中間純利益 (親会社株主に帰属)



468百万円

前年同期比 26.1%減



- 利益は、センサセグメントが大幅に増益となった一方で、個別案件の利益率下振れによる計装システムセグメントの減益により全体として減益

損益状況

売上高



4,620 百万円

前年同期比

5.4%減



セグメント利益



699 百万円

前年同期比

2.1%減



製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理加工向けを中心に全体の需要は堅調だったものの、中国における一時的な需要減少の影響により、前年同期比で減収
- 利益は、売上高減少により減益

<売上高>

(百万円)

10,000

5,000

0

9,169

4,524

9,744

4,884

■ 2Q累計 ■ 通期

9,800
(予想)

4,620

FY2023

FY2024

FY2025

<セグメント利益>

(百万円)

2,000

1,500

500

0

1,173

598

1,511

714

1,550
(予想)

699

■ 2Q累計 ■ 通期

FY2023

FY2024

FY2025

損益状況

売上高



4,532 百万円

前年同期比

13.9%増



セグメント利益



213 百万円

前年同期比

62.9%減



製品別状況

- 空調用コンプレッサ評価試験装置は、自然冷媒対応機器の需要が増加
- 利益は、個別案件の利益率下振れ等により減益

<売上高>

(百万円)

10,000

5,000

0

9,699

3,486

9,958

3,980

■ 2Q累計 ■ 通期

10,300
(予想)

4,532

FY2025

<セグメント利益>

(百万円)

2,000

1,500

1,000

500

0

1,268

532

1,551

574

■ 2Q累計 ■ 通期

1,350
(予想)

213

FY2025

損益状況

売上高

4,502百万円

前年同期比

18.4%増



製品別状況

セグメント利益

937百万円

前年同期比

42.5%増



- 半導体・電子部品の製造装置や熱処理加工向けを中心に需要が好調
- グループ会社・明陽電機(株)（船舶向け温度センサを製造販売）の増収が寄与
- 利益は、増収効果等により増益

<売上高>

(百万円)

10,000

5,000

0

FY2023

FY2024

FY2025

7,549

3,537

8,597

3,803

8,850
(予想)

4,502

■ 2Q累計 ■ 通期

<セグメント利益>

(百万円)

2,000

1,500

1,000

0

FY2023

FY2024

FY2025

1,398

622

1,706

658

937

■ 2Q累計 ■ 通期

1,995
(予想)

FY2025の業績予想 (2025年5月13日発表)

エネルギー価格の高止まりや物価の高騰、不安定な為替相場などに加え、米国における関税政策の影響等、不確実性は増しているものの、主要顧客（自動車・電子部品分野等）および脱炭素社会に向けた水素関連分野での需要拡大を前提として、FY2025の業績予想は前期比で增收増益と予想。

項目	FY2025 業績予想 (2025年5月13日発表)	FY2024 実績	増減	増減比 (%)
売上高	30,000	29,329	671	2.3
営業利益	2,900	2,879	21	0.7
経常利益	3,050	3,034	16	0.5
当期純利益 (親会社株主に帰属)	2,000	1,991	9	0.4

» 6. 今後の取組み

CHINO



政治・経済

●世界の政治・経済の不透明化

- －ウクライナ/中東問題、トランプ関税、中国経済
- 新興国経済の発展による各種需要の拡大
- －食料、エネルギー、インフラ整備

●安全基準・規格の国際標準化

- －自動車、航空機・宇宙、医薬、食品
- 「XaaS」モノからサービスへの経済シフト

Volatility(変動性・不安定さ)

Uncertainty(不確実性・不確定さ)

環境(GX)

●地球温暖化/気候変動問題の深刻化

- －激甚化する自然災害
- －水資源不足問題/エコシステム破壊
- －世界的な省資源化の進行

●脱炭素社会実現に向けた動きの加速

- －日本の水素基本戦略「15年で15兆円投資」
- －環境配慮型へのビジネスシフト、エネマネ

技術(DX)

●デジタル技術の革新とDXの加速

- －AI/ビッグデータ/IoT/ロボティクス/RPA
- －自動車の変容(CASE)/スマート工場化
- －リモートワーク、生産性向上、製品機能

●多様なエネルギー源の高度利用

- －太陽光、風力、バイオマス、地熱等
- －水素利活用/二次電池市場の拡大

Complexity(複雑性)

Ambiguity(曖昧性・不明確さ)

VUCA の加速

社会(サステナビリティSX)

●日本の少子化・高齢化/世界の人口増加

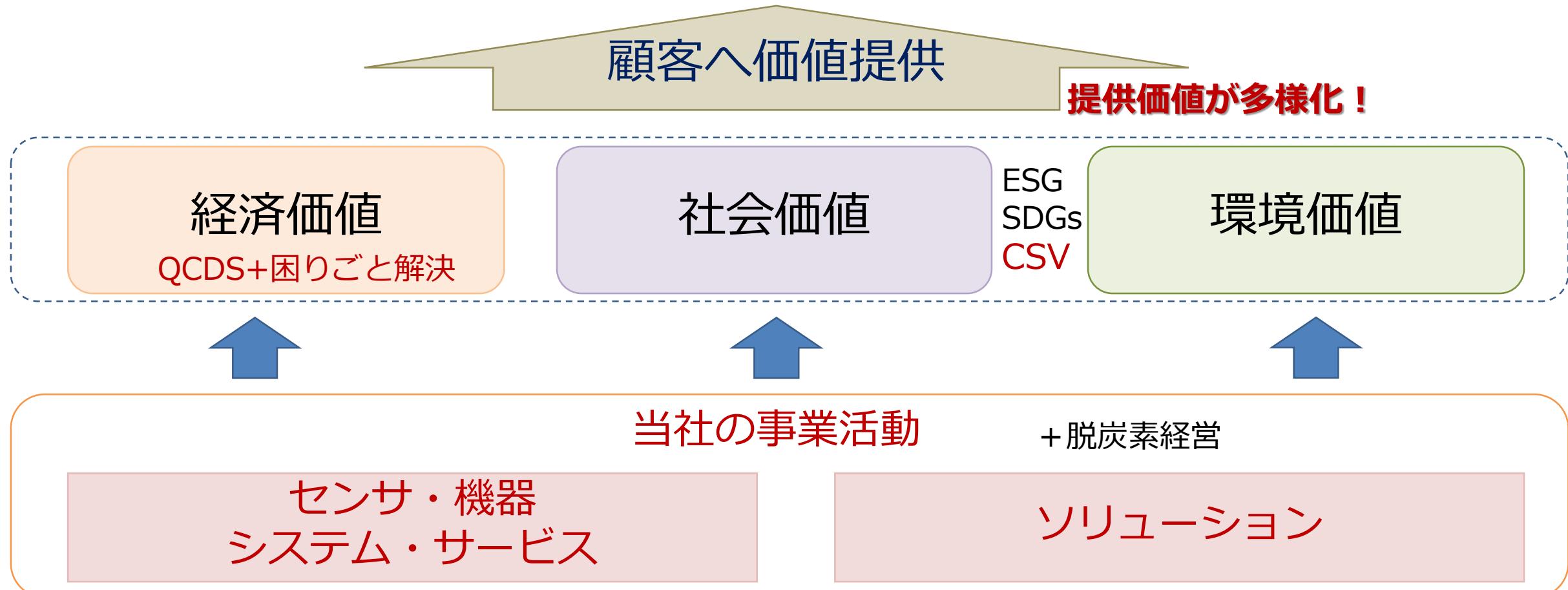
- －国内労働人口減少問題、採用と育成

●企業に対する要請の高度化

- －働き方改革/ダイバーシティ/サステナビリティ
- －コーポレートガバナンス/コンプライアンス
- －リスクマネジメント
- －サーキュラーエコノミー

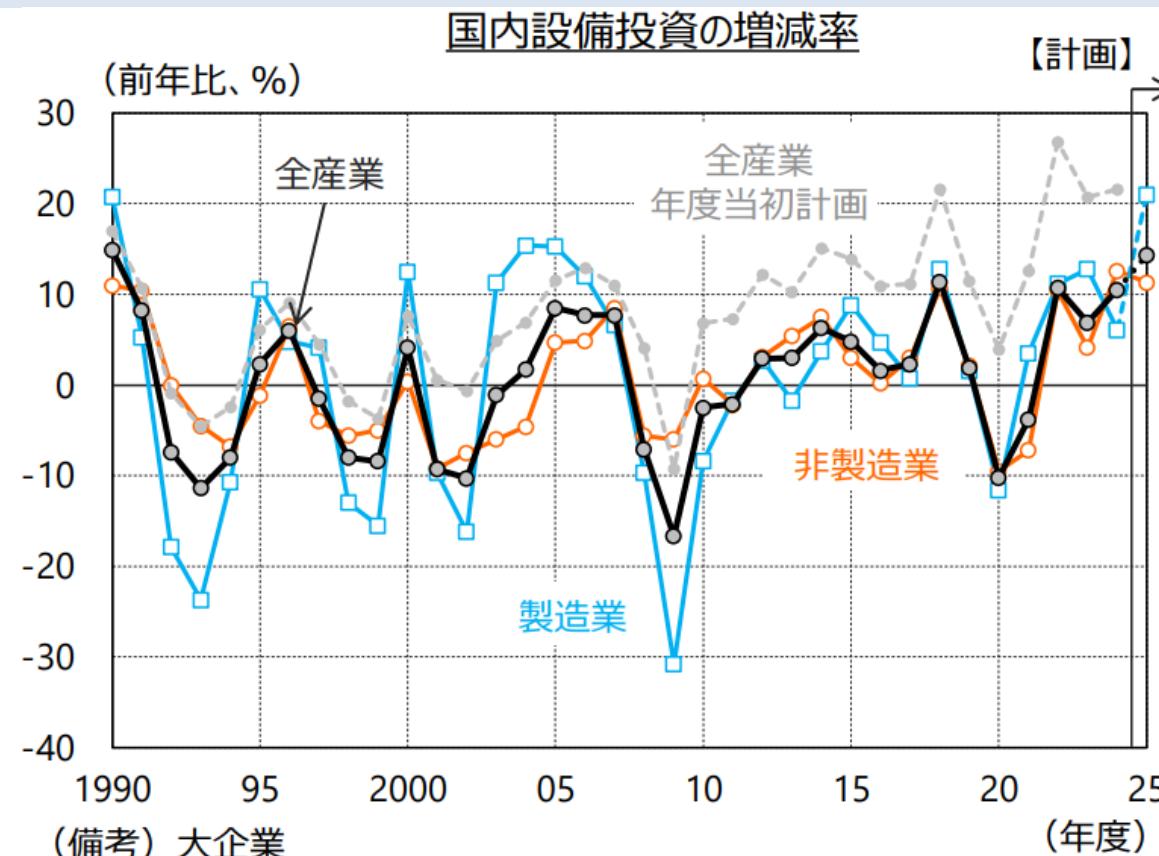
企業に要請される価値

サステナブルな社会の実現に貢献



2025年度の設備投資の状況

- 2025年度は、全産業（大企業）では前年比14.3%（製造業21.0%、非製造業11.3%）増の計画。
製造業は自動車の電動化投資の継続や素材業種を中心とした脱炭素投資により高い伸びを維持。



出所：株式会社日本政策投資銀行
2025年度設備投資計画調査

2025年度の設備投資の特徴

- 製造業：半導体・電動化関連を中心に素材業種や自動車などで増設・拡張投資
- 脱炭素：高度化・高付加価値化投資(SAF等次世代燃料増産)
- デジタル化・効率化：AI需要増に伴うデータセンター向け投資

	増設・拡張			製品高度化・高付加価値化			デジタル化・効率化		その他 (研究開発等)
食品	環境に配慮した工場の新設						高効率工場新設、配送システム刷新		
鉄鋼・非鉄	半導体・ 同材料の 能力増強	電子材料	電池向 け素材・ 部材	電磁鋼板	電炉	高炉・電炉効率化	半導体向け部材		
化学				電動化 関連 能力増強				医薬、電子材料 研究施設新設	
電気機械	電子部品						車載向け電子部品		
輸送用機械	造船関連	電池等電動化投資		新車種・ モデルチェンジ対応	SDV(※2)関連				
一般機械	高効率発電	防衛関連			自動化対応			インキュベーション 施設新設	
石油		次世代燃料(SAFなど)						次世代燃料向け 研究施設新設	
通信・情報							データセンター	通信 ネットワーク	
電力・ガス	再エネ等向け送配電網								
卸売・小売							AI発注	次世代店舗システム	
運輸	人流拡大 に向けた 都市機能 高度化の 継続	空港機能 物流施設	航空機 車両新造・新線建設 駅周辺・都心再開発				物流効率化 省力機器・自動化		
不動産									
サービス			娯楽施設 ホテル						

(備考) オレンジは相対的に投資規模が大きい内容、緑色文字は脱炭素関連投資

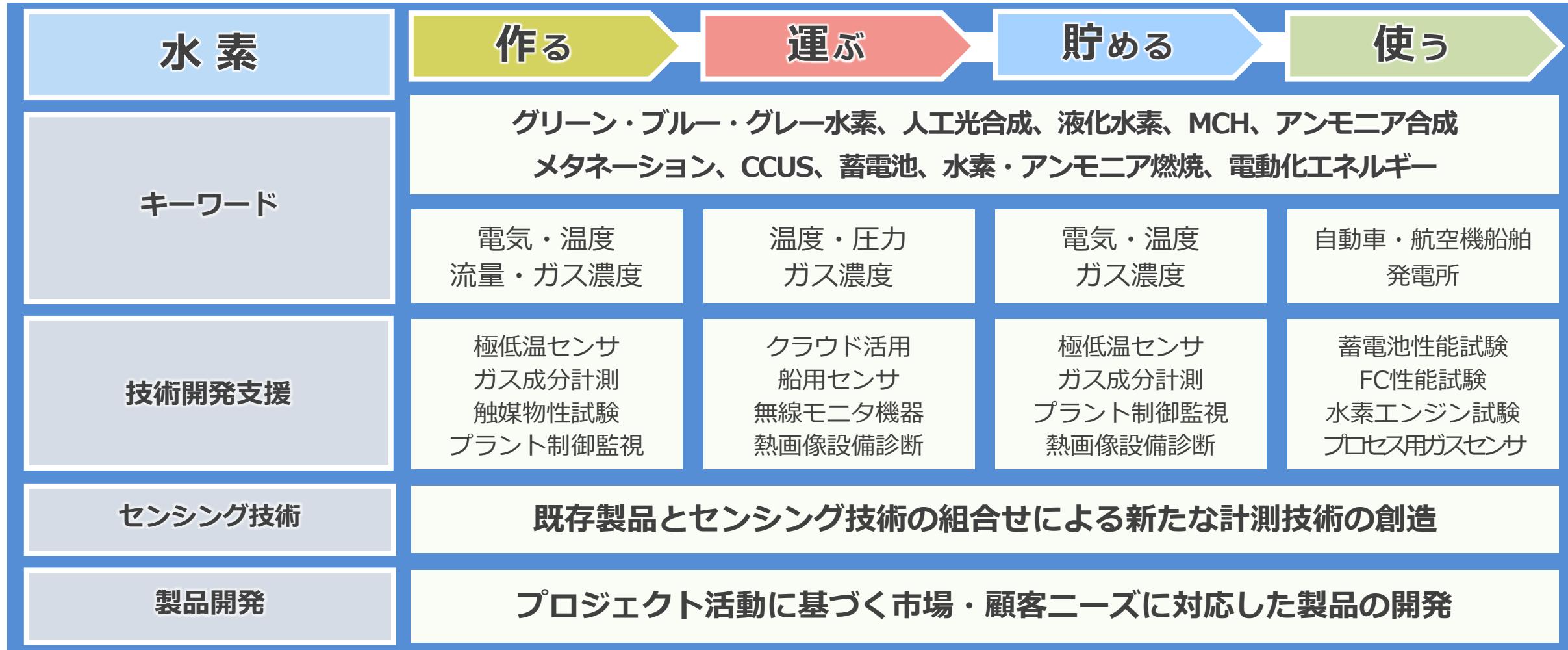
出所：株式会社日本政策投資銀行
2025年度設備投資計画調査

水素社会実現に向けた政策

- 「水素基本戦略（アンモニア等を含む）」改定（2023年6月）
 - ①水素社会の実現を加速化：**水素利用量目標** <2040年> **1,200万トン**
 - ②水素生産基盤の確立：**水電解装置導入目標** <2030年> **世界の約1割**
 - ③水素等製造サプライチェーンの構築：**15年間で15兆円の投資計画**
 - ④クリーン水素移行：「**クリーン水素**」世界基準策定を日本がリード
- 「水素社会推進法」施行（2024年10月）
国が前面に立って、**水素等の供給・利用・貯蔵を促進**
- 経産省から「燃料費（水素）補助」の発表（2025年5月）
水素モビリティの導入を促進するため、6都県で**商用車（トラック・バス等）**に**燃料費補助**を始めると発表

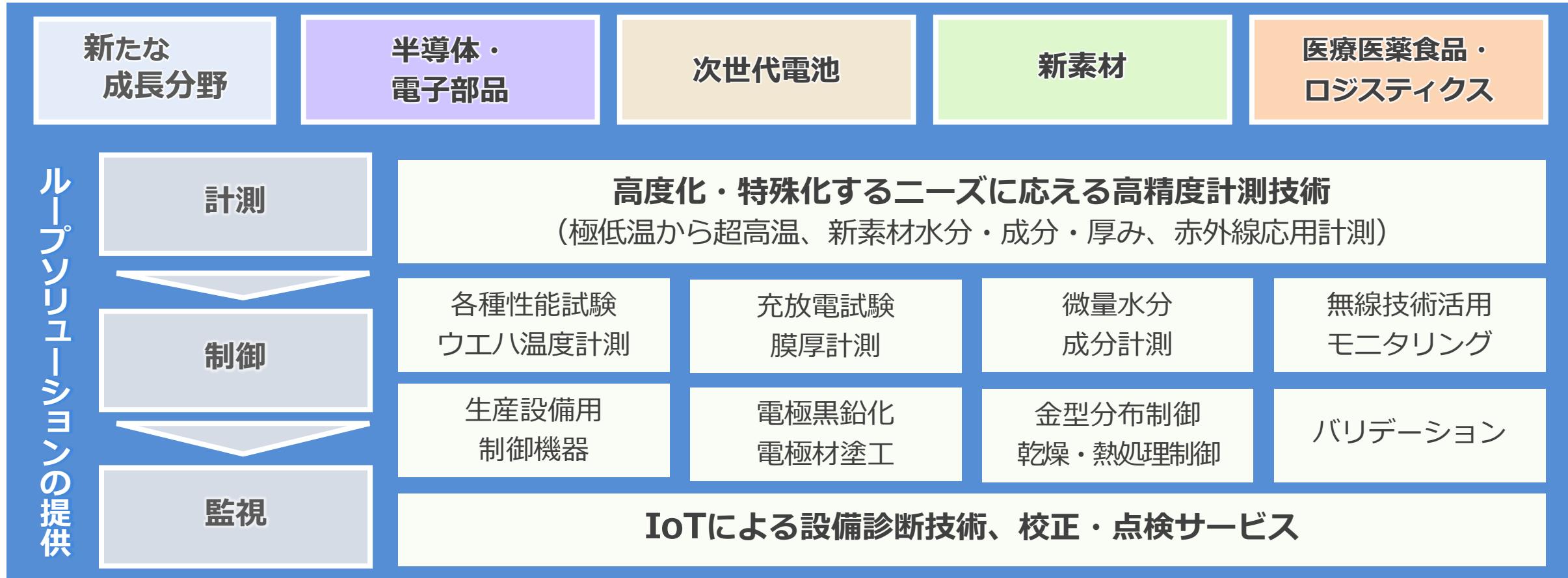
水素社会に向けた事業活動

水素社会（カーボンニュートラル2050）に向けて事業活動を行う。



成長市場の開拓

新たな成長分野・市場に向けて**特長あるソリューション**の開発と提供を進めることで競争優位性を発揮し、事業の拡大と社会課題の解決を実現する。



» 7. トピックス

CHINO



■ 概要

目的	<ul style="list-style-type: none">投資単位引き下げ、投資しやすい環境の整備株式流動性の向上投資家層の拡大
分割方法	普通株式1株につき2株に分割
分割基準日	2025年9月30日
効力発生日	2025年10月1日

自己株式の取得

株主還元を強化するとともに、**資本効率の向上**を図ることを目的として2025年11月12日の取締役会において、自己株式取得について決議。

1.取得期間

2025年11月13日～2026年11月12日

2.取得する株式（上限）

①株数 860,000株

※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.05%

②金額 13億円

3.その他

取得する自己株式は、消却予定

「チノーレポート2025」を発行

2025年10月31日に「チノーレポート2025」を発行しました。

本レポートは、ステークホルダーの皆様に、当社グループの事業活動・中長期的な経営の取組みについて深くご理解いただくことを目的として作成した年次統合報告書です。

本レポートをコミュニケーションツールの一つとして、ステークホルダーの皆様との対話を一層進め、今後とも持続的な企業価値向上に努めてまいります。



トップメッセージ



社外役員座談会

＜チノーレポート掲載＞



展示会への出展

顧客コミュニケーション強化の取組みとして積極的に展示会に出展しました。

2026 第18回開催 地球温暖化防止展

CO₂削減と新エネ・省エネビジネスの推進 | The 18th Global Warming Prevention Exhibition 2026

日程：2025年5月28日～30日
会場：東京ビッグサイト



CO₂削減と新エネ・省エネ
ビジネスの推進

第27回 インターフェックスジャパン 医薬品・化粧品 製造展

日程：2025年7月9日～11日
会場：東京ビッグサイト

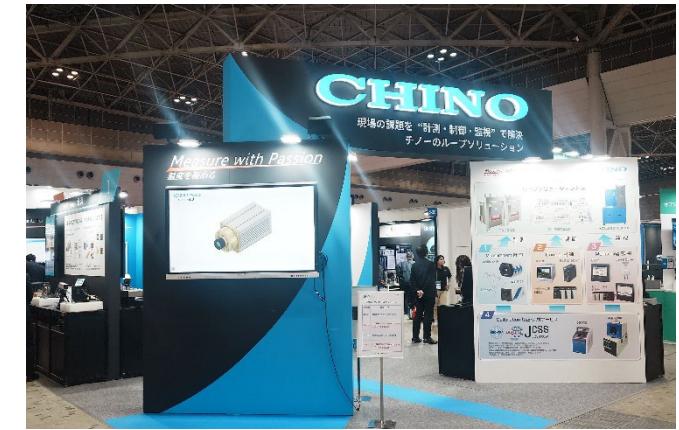


医薬・化粧品業界における
日本最大の展示会

IIFES 2025 Innovative Industry Fair for E x E Solutions

オートメーションと計測の先端技術総合展

日程：2025年11月19日～11月21日
会場：東京ビッグサイト



様々な産業の現場における
制御・駆動・計測に関する展示会

＜オンライン展示会(当社HP)＞



» 8. 株主還元等

CHINO

- 1) 配当
- 2) 株主優待制度
- 3) 株価推移（過去10年間）



配当方針

[中期経営計画の後半3年間
(2024年度～2026年度)]

2026年度の配当性向(連結)を
40%まで引き上げていくこと
を目指し持続的な利益成長を
通じ増配を実現

中期経営計画NX26

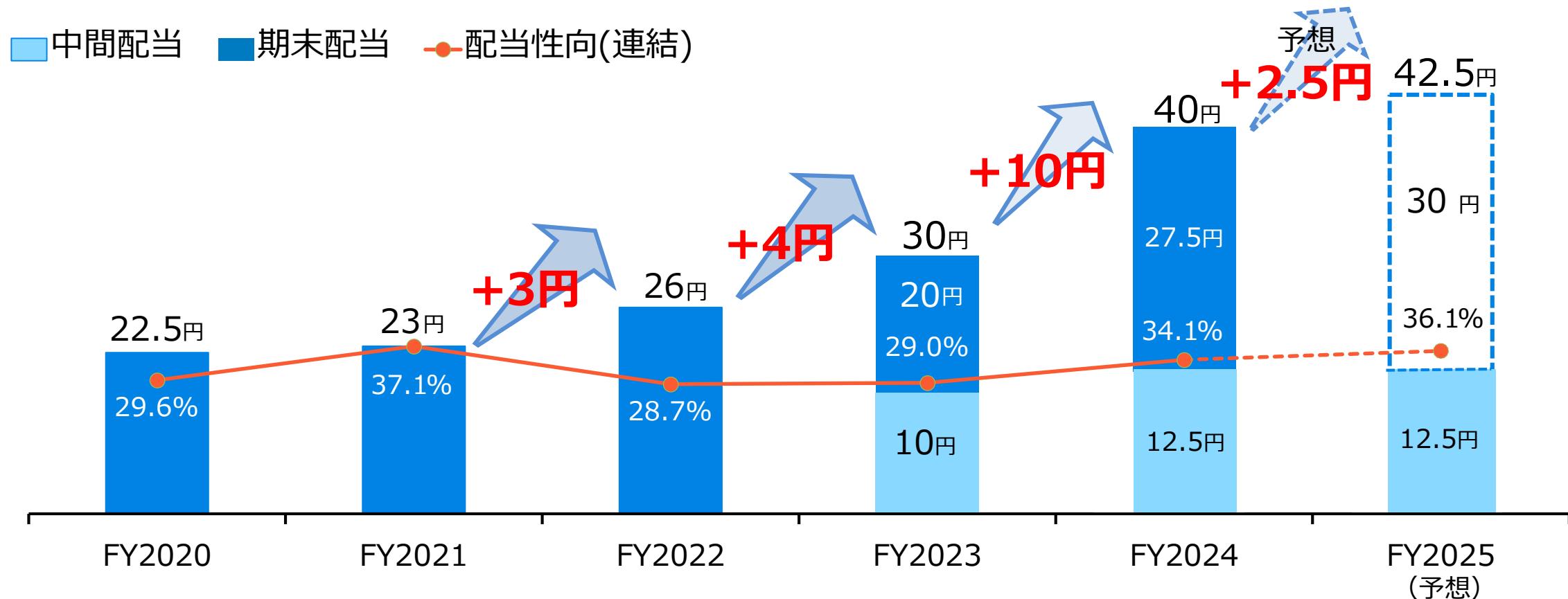
	Phase1：成長の基礎固め			Phase2：成長の加速		
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (予想)	2026年度 (計画)
配当性向(%)	37.1	28.7	29.0	34.1	36.1	40

配当金推移（※株式分割後ベース）

（東証プライム：6850）

※2025年10月1日付で1株を2株に分割。下記グラフ（FY2020～FY2025）は、株式分割後ベース。

- FY2025中間配当 : 12.5円
 - FY2025期末配当（予想）: 30円
- 42.5円（予想）
(前期比 2.5円増配)



【概要】

- 対象の株主様 : 3月末現在**300株以上**保有
- 贈呈時期 : 5月
- ポイント : ①保有株式数に応じたポイント
②**次年度へ1回のみ繰越可能**
- 交換できる商品 : **5,000種類以上**の食品・電化製品と交換
「**WILLs Coin (共通株主優待コイン)**」に交換することで他社から
得たポイントと合算可能



チョコレート
& クッキー

近江牛すじ
煮込みカレー

伊勢海老
割烹料理

松阪牛

海鮮かに鍋

赤ワイン

<チノー・プレミアム優待俱楽部>



< 株主優待ポイント表 (保有株式数：株式分割後ベース) >

保有株式数(単位：株)	付与ポイント
300～599	2,000
600～799	4,000
800～999	8,000
1,000～1,199	15,000
1,200～1,399	20,000
1,400～1,999	25,000
2,000～3,999	30,000
4,000～9,999	35,000
10,000以上	40,000

□：優待対象追加

株価推移（※株式分割後ベース）

※2025年10月1日付で1株を2株に分割

（東証プライム：6850）

■ 株価：1,397円

（2025年11月28日終値）

■ 単元株式数：100株

■ 売買最低代金：139,700円

時価総額

（2025年11月28日終値）

258億円

PER ※1

11.88倍

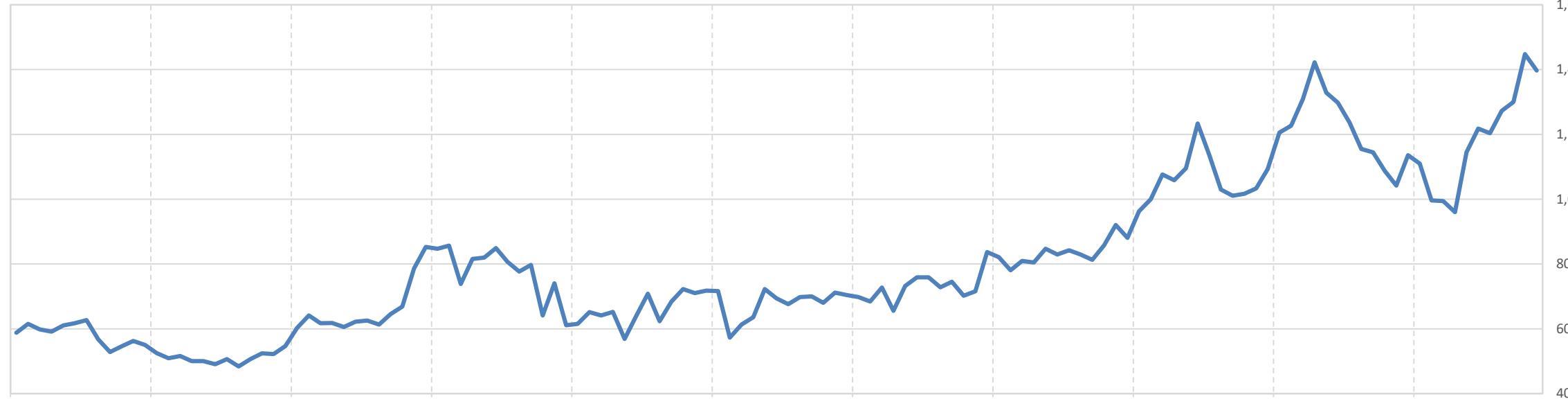
PBR ※2

1.07倍

※1 1株当たり当期純利益（2026年3月期通期業績予想）を用いて算出。

※2 1株当たり純資産（2026年3月期中間期）を用いて算出。

株価：資料作成時点（2025/11/28終値）



出典：Yahoo! Finance

※上記グラフ(2015年～2025年)：株式分割後ベース

当社ホームページのご案内

CHINO

暑さ指数（WBGT）監視！ マイページ ダウンロード 展示会情報 お立ち寄り情報 採用情報 ● 言語 ●
製品/サービス ● ソリューション ● サポート情報 ● お知らせ 企業情報 IR情報 サステナビリティ お問い合わせ

Measure with Passion

温度を極める

チノーグループは温度を中心とした
計測・制御・監視を通して、社会の発展に貢献しています。



NEWS

お知らせ

一覧を見る

2024.11.14	IR情報	「2025年3月期 第2四半期決算説明資料」を掲載いたしました。
2024.11.13	IR情報	「第89期 半期報告書」を掲載いたしました。
2024.11.12	IR情報	「2025年3月期 第2四半期決算短信」を掲載いたしました。
2024.11.05	セミナー情報	ISO18436-7機械状態監視診断技術者（サーモグラフィ）の赤外線診断技術者訓練コース（カテゴリー1）を開催いたします。
2024.11.01	お知らせ	TSCA[Toxic Substance Control Act]規制における当社の製品について
2024.10.31	CSR情報	チノーレポート2024を掲載しました。

当社ホームページにて企業情報を掲載しています。

当社の事業紹介、サステナビリティに対する取組みのほか、トピックスやIR情報も随時開示しています。
どうぞお気軽にアクセスしてください。

＜当社ホームページ＞



» Appendix

CHINO

- ・資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応 P59
- ・中期経営計画 P62
- ・その他 P64



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応① (取組み方針)

取組み方針

1. 基本戦略

1) 中期経営計画の目標達成への取組み

- ①成長分野のさらなる開拓・拡大
- ②コア事業の高度化と価値創造
- ③海外事業の基盤強化と拡大
- ④経営基盤の強靭化

2. 財務・資本戦略

1) 株主還元の充実

連結配当性向（2026年度）目標を40%とし、持続的な利益成長を通じた増配を実現する

2) 政策保有株式の縮減（2021年度以降、順次実行）

3. I R 活動の充実

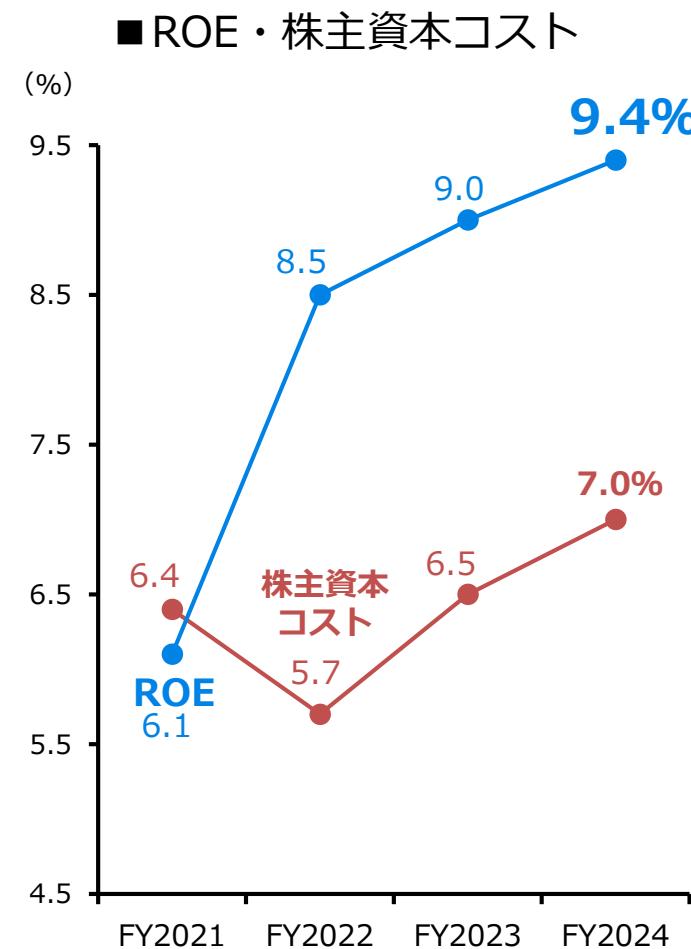
1) 個別 I R ミーティングの機会拡充

2) IR情報/非財務情報（サステナビリティ情報等）発信の充実

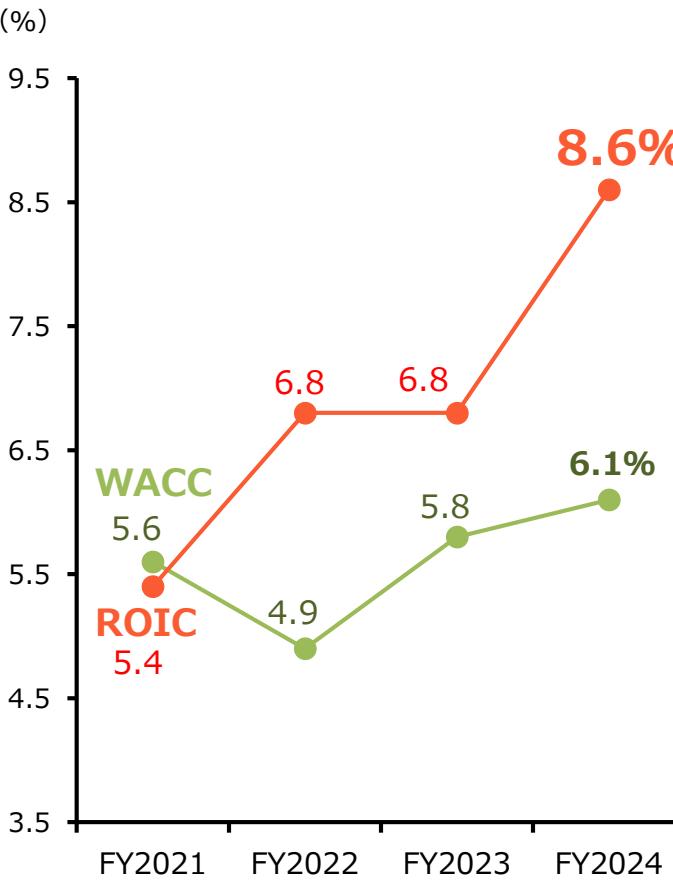
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応② (資本収益性等)

2024年度の実績

<資本収益性・資本コスト>

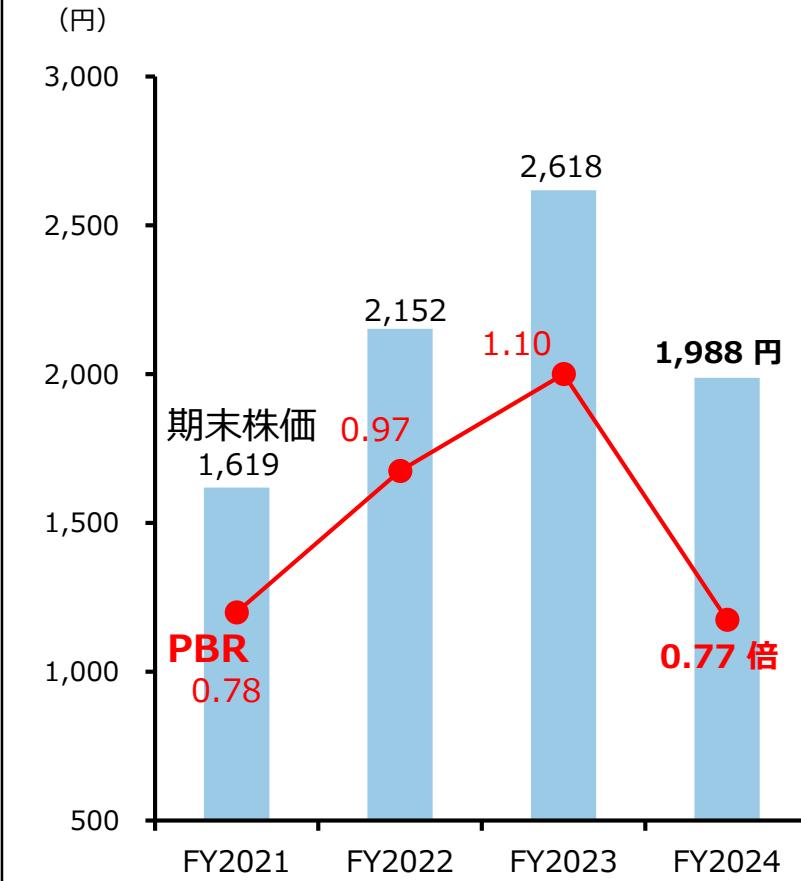


■ ROIC・WACC



<市場評価>

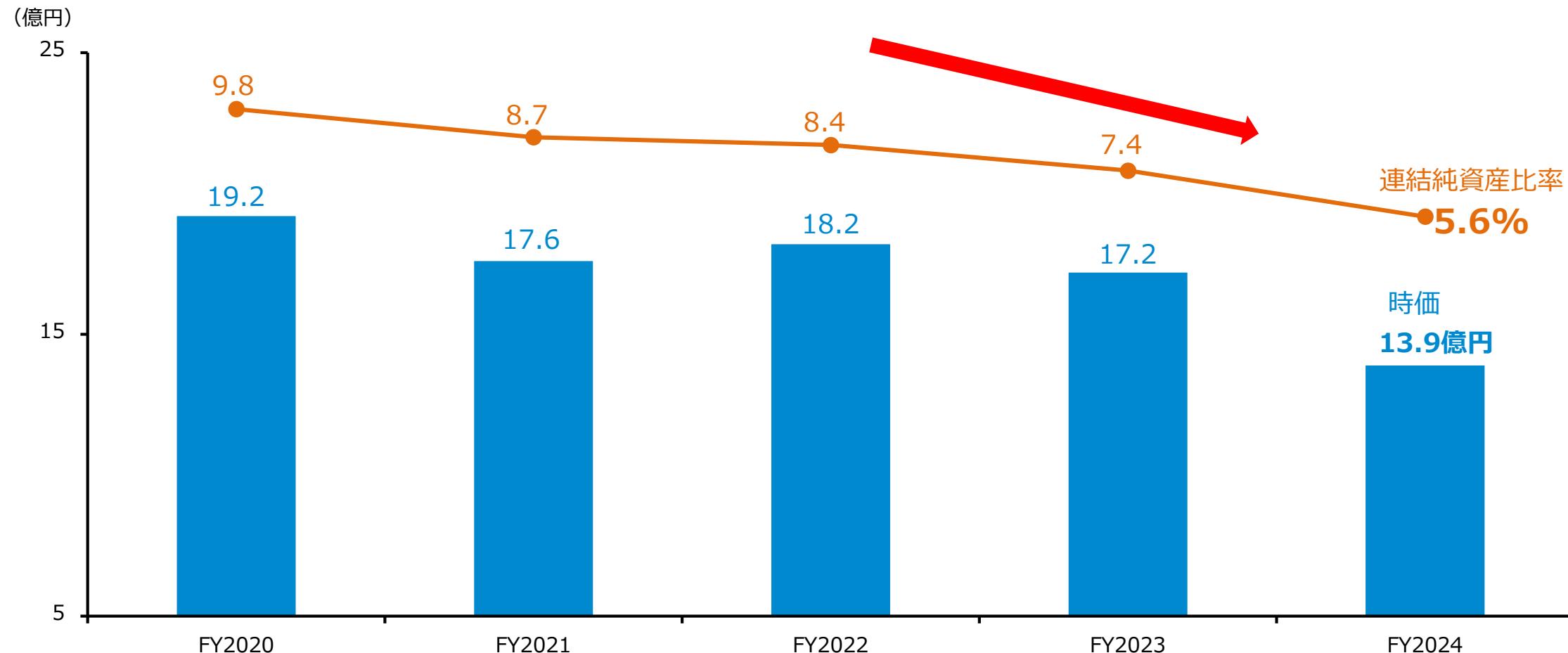
■ 株価・PBR



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応③

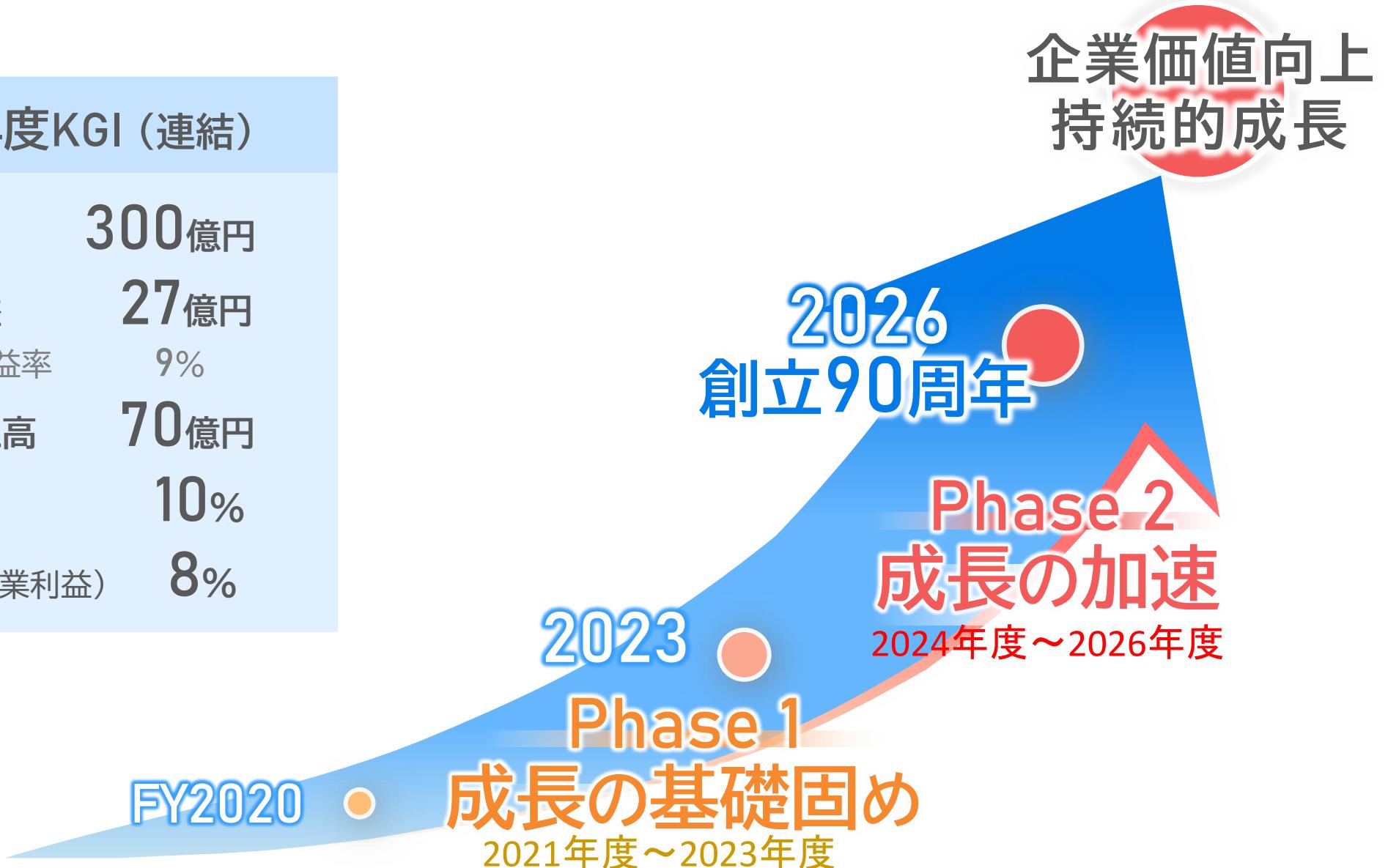
(政策保有株式の縮減)

中長期的な視点からその保有効果や対象企業の財務状況を定期的に検証し、保有継続の意義が乏しい銘柄については、適宜株価や市場動向を踏まえ売却を進めています。



中期経営計画 (数値目標 (KGI))

2026年度KGI (連結)	
■ 売上高	300億円
■ 営業利益	27億円
営業利益率	9%
■ 海外売上高	70億円
■ ROE	10%
■ ROA(営業利益)	8%



持続的な成長軌道の構築 + 中長期的な企業価値の向上

4つの基本戦略



成長分野のさらなる開拓・拡大

新たな成長分野に向けて、グループシナジーを創出し
特長あるソリューションの開発と提供を加速させる



コア事業の高度化と価値創造

独自技術とサービスとのインテグレーションによりコア事業を高度化し、
お客様と新しい価値を創造する



海外事業の基盤強化と拡大

国内外事業のリレーションシップ強化と地域別戦略の展開により
グループ収益力を高める



経営基盤の強靭化

企業価値の創造とイノベーション、スピード経営を支える
人財・組織・ICT・ガバナンス・財務体質の強靭化を進める

サステナビリティ経営の推進

ESG課題への対応

SDGsへの貢献

海外（地域別重点市場）

複数国市場の限定マーケットニーズに合致した製品（日本生産）による販売拡大
熱処理市場向け機器（中国生産）の価格競争力強化・販売拡大

地域	市場	半導体・電子部品	熱処理	脱炭素・エネルギー	航空機・自動車	人工ダイヤ	取組み方針
☆ 中国	○ (※)	○		○	○ (※)		※放射温度計を中心に市場開拓
☆ 韓国	○ (※)	○					※放射温度計を中心に市場開拓
○ ASEAN		○	○				販売子会社（タイ）より装置メーカー向け販売拡大
○ インド		○	○	○	○ (※)		熱処理市場で機器販売拡大 ※放射温度計を中心に市場開拓
米国		○	○	○			熱処理市場に機器販売拡大
欧州		○	○				熱処理市場で代理店販売網強化

☆：重点地域 ○：成長地域 ○：重点市場 緑色箇所：複数国ニーズ対応製品の販売

1. 経営ビジョンを実践するプロフェッショナル人財の確保・育成

- ・期待される人財像と育成方針に沿った育成マネジメントの変革
- ・マネジメント力の向上を企図した管理職養成プログラムの刷新
- ・社員の持続的な能力開発と多様なキャリア開発の支援

2. 組織の活力向上を推進する働きがいのある職場環境の整備

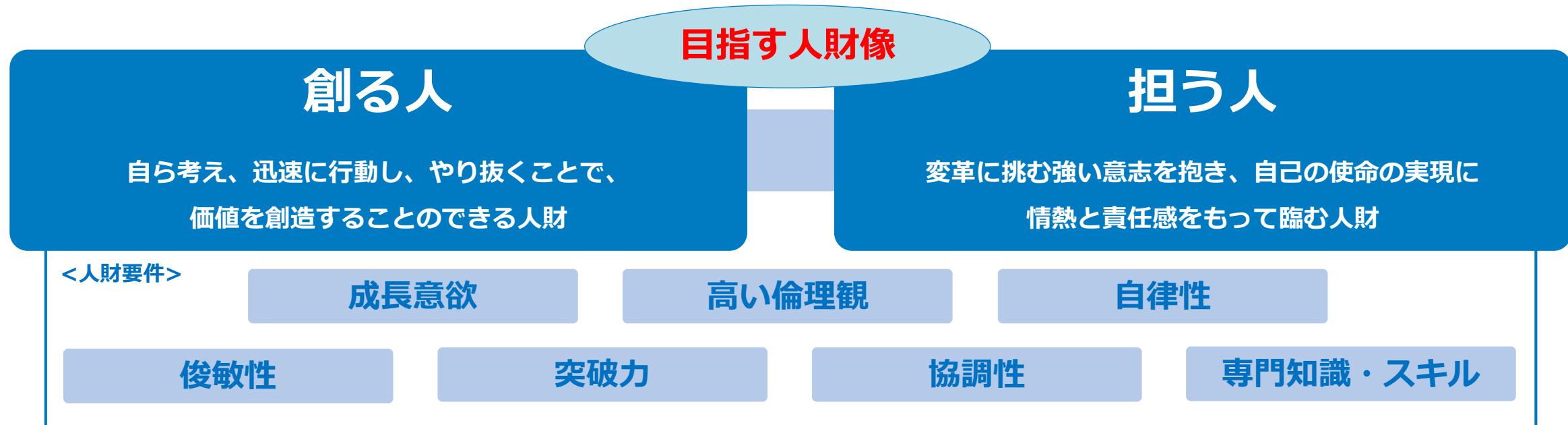
- ・多様で柔軟かつ業務効率性の高い働き方への変革と定着
- ・多彩な人財の活躍を促進するダイバーシティ推進施策の展開
- ・一人ひとりの心身の健康と職場の安全を確保する健康経営の推進

3. 公平かつ生産性の向上につながる人事関連諸制度の再構築

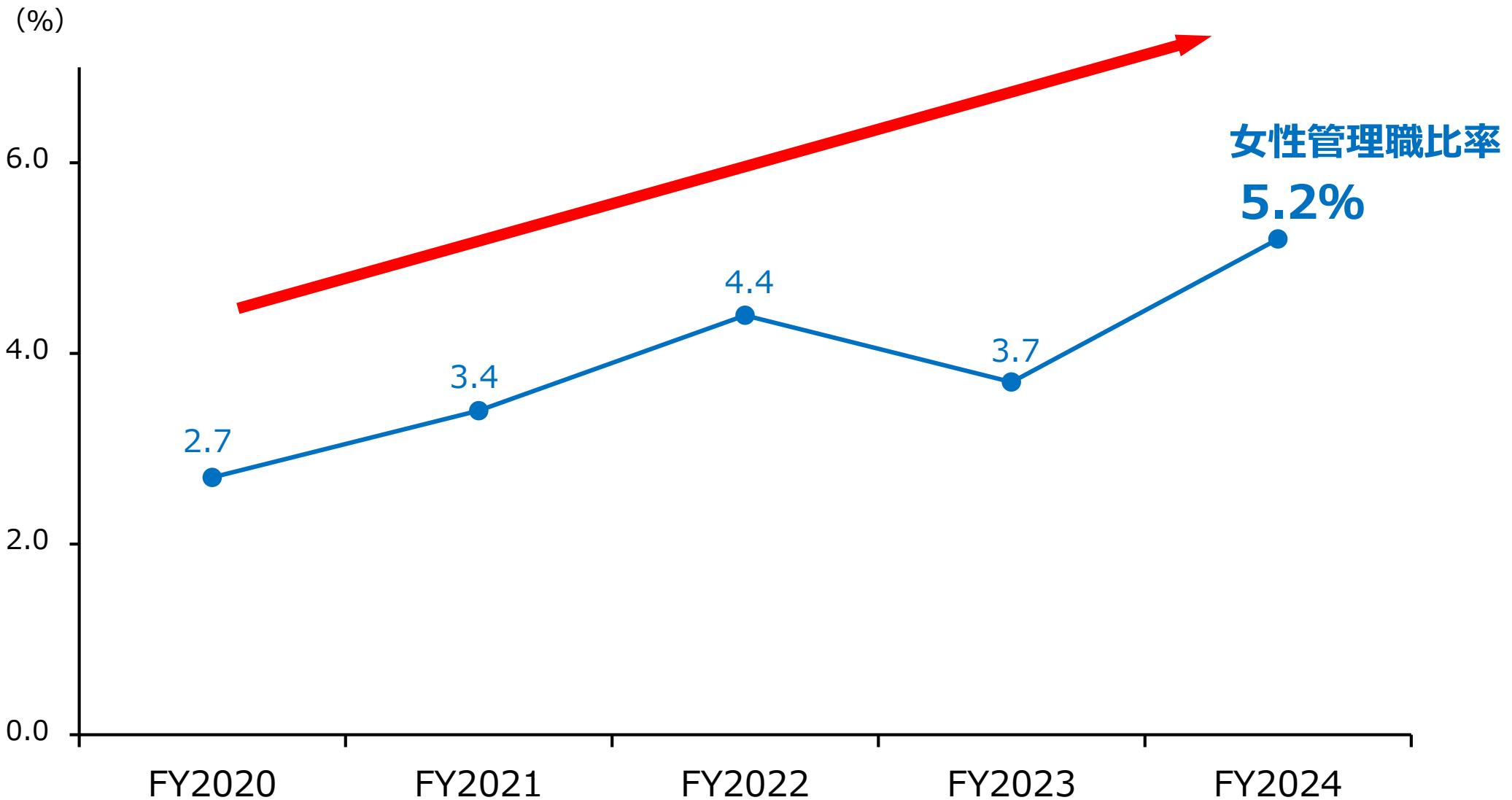
- ・各々の職務に求められる役割・責任に基づく人事体系の見直し
- ・成果と貢献に報いる、客觀性と透明性の高い給与評価制度の構築
- ・人事評価制度の見直しに連動したキャリアモデルの明確化

＜人財育成基本方針＞

- 一人ひとりの個性を尊重し強みを活かすこと
- 自己成長に向けて努力・研鑽する社員を支援すること
- 成果に正しく報いること



女性管理職の状況



当社製品のシェア (2024年国内販売ベース<単体>)

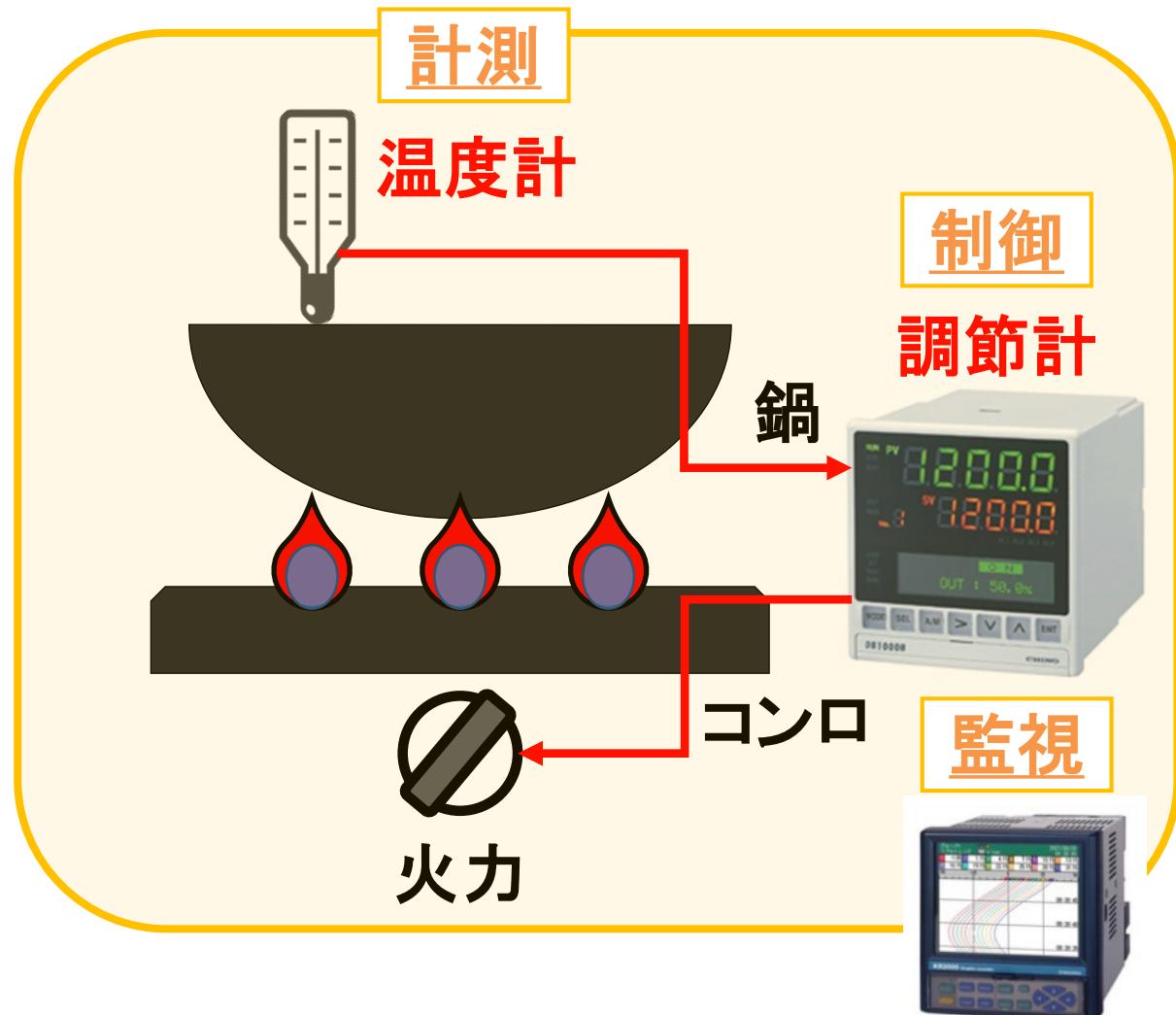
製品区分	国内市場シェア			
	販売金額	販売数量	順位	順位
記録計	 15.3%	3位	20.8%	3位
調節計	 5.7%	5位	3.9%	6位
電力調整器	 19.9%	2位	7.9%	5位

※上記データは、温度以外（湿度、圧力、流量）を含むシェア

出所：2025年版 注目メカトロニクスパーツ市場実態総調査（富士経済）

ループソリューション (わかりやすい例)

■制御とは 【天ぷらを揚げる場合】



油温を170°Cにキープしたい！

使うもの

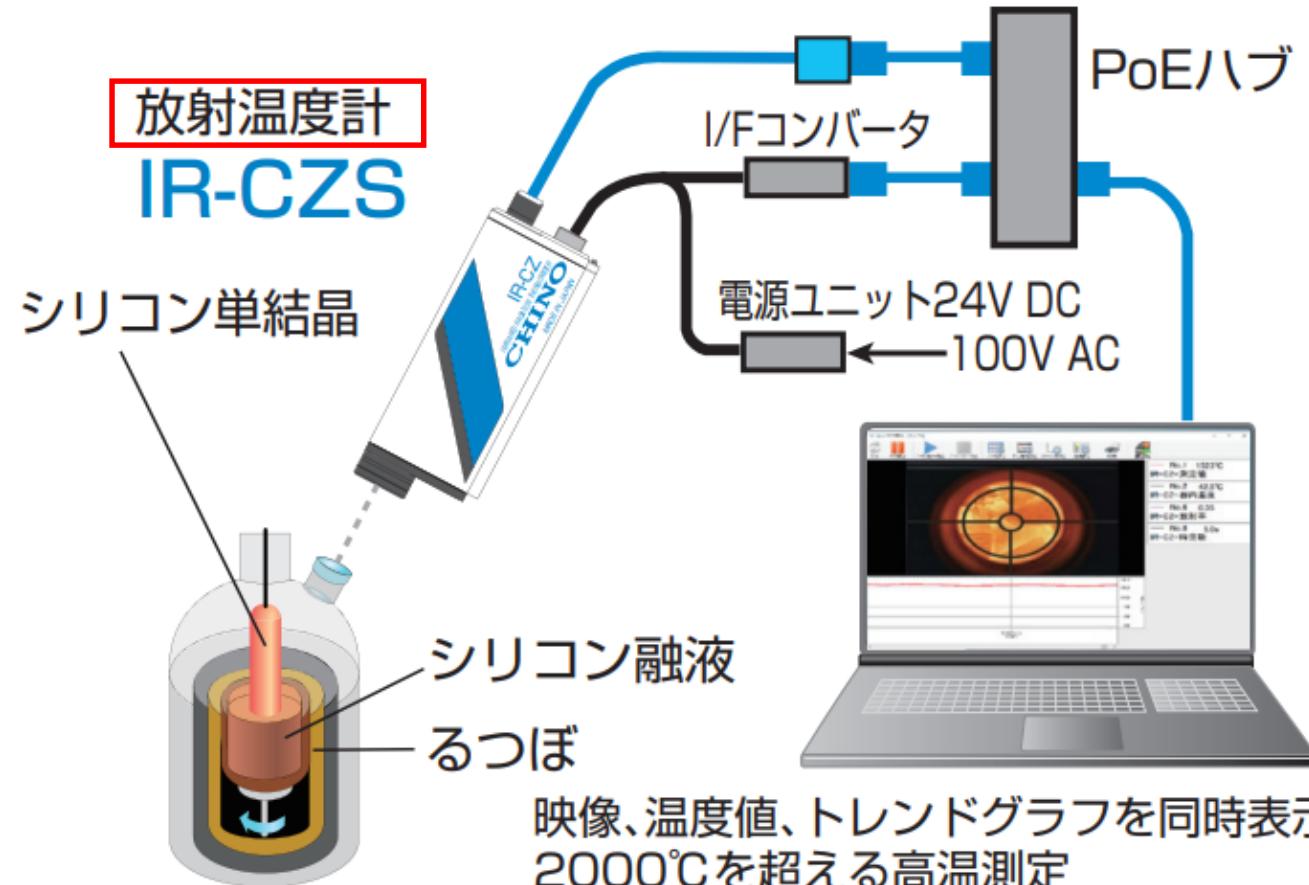
- 油入り鍋
- コンロ
- 温度計
- 調節計

誰でも

調節計の設定温度を
170°CにするだけでOK

半導体関連（製造プロセスの温度管理）

厳密な温度制御を要する半導体製造プロセス（シリコン単結晶引上げ時の温度計測）において当社の「計測・制御・監視」技術が貢献しています。



※パワー半導体SIC結晶成長炉（昇華炉）でも放射温度計を上記同様のスキームで使用。

 : 当社製品

環境関連（エアコンの自然冷媒対応）

環境負荷（地球温暖化への影響）が少ない自然冷媒（CO₂等）に対応した**空調用コンプレッサ性能試験装置**を提供しています。

＜冷媒（※）の移行＞

※熱を移動させるために用いられる物質

特定フロン

オゾン層破壊	温室効果
有	大



自然冷媒
(CO₂等)

無	小
---	---

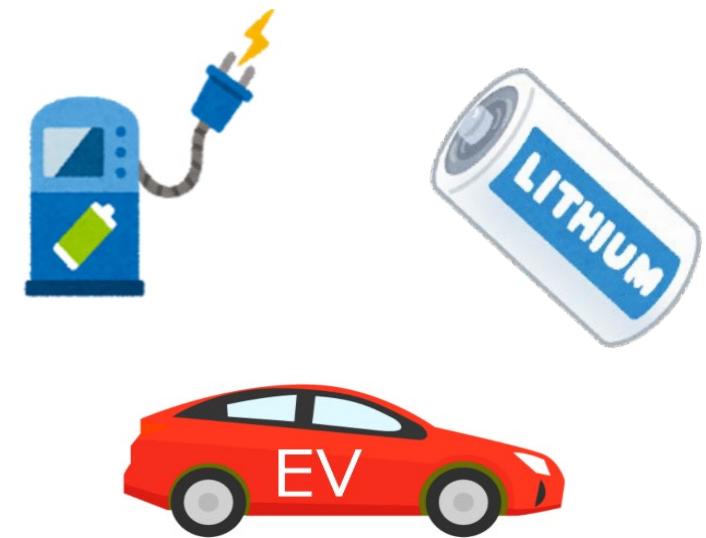
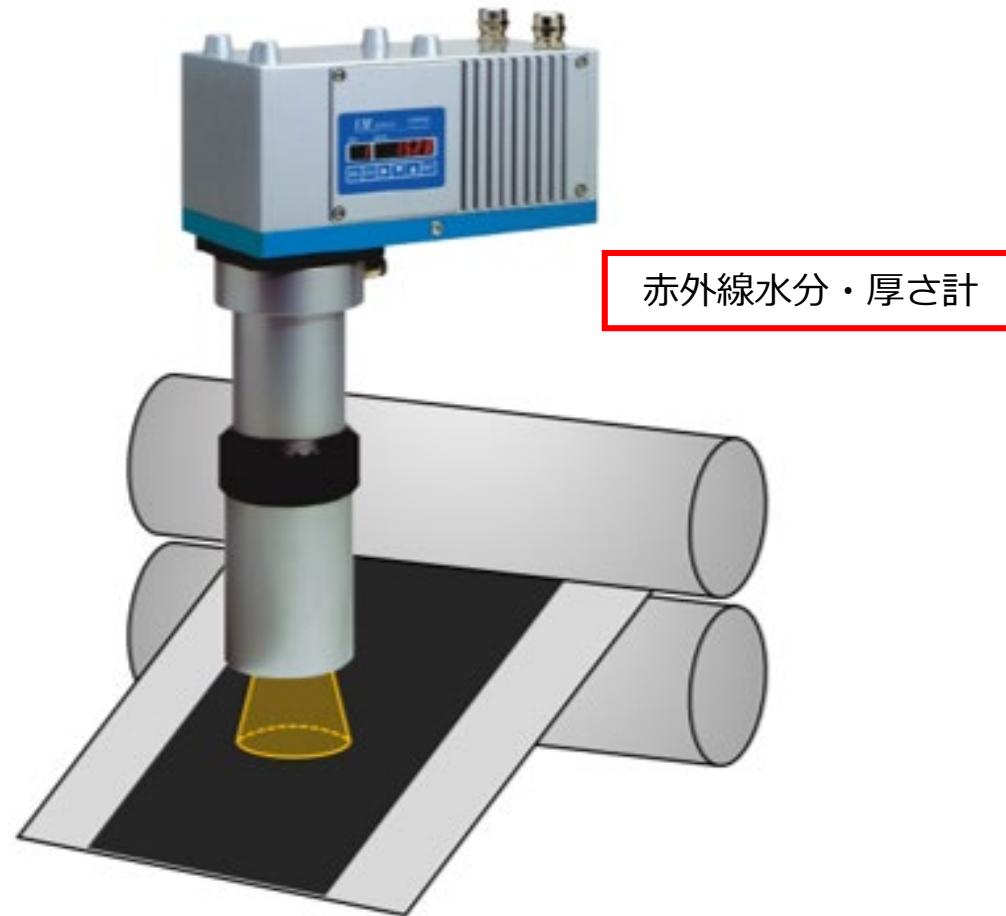


コンプレッサ性能試験装置

□ : 当社製品

自動車関連（リチウムイオン電池の不良品検知）

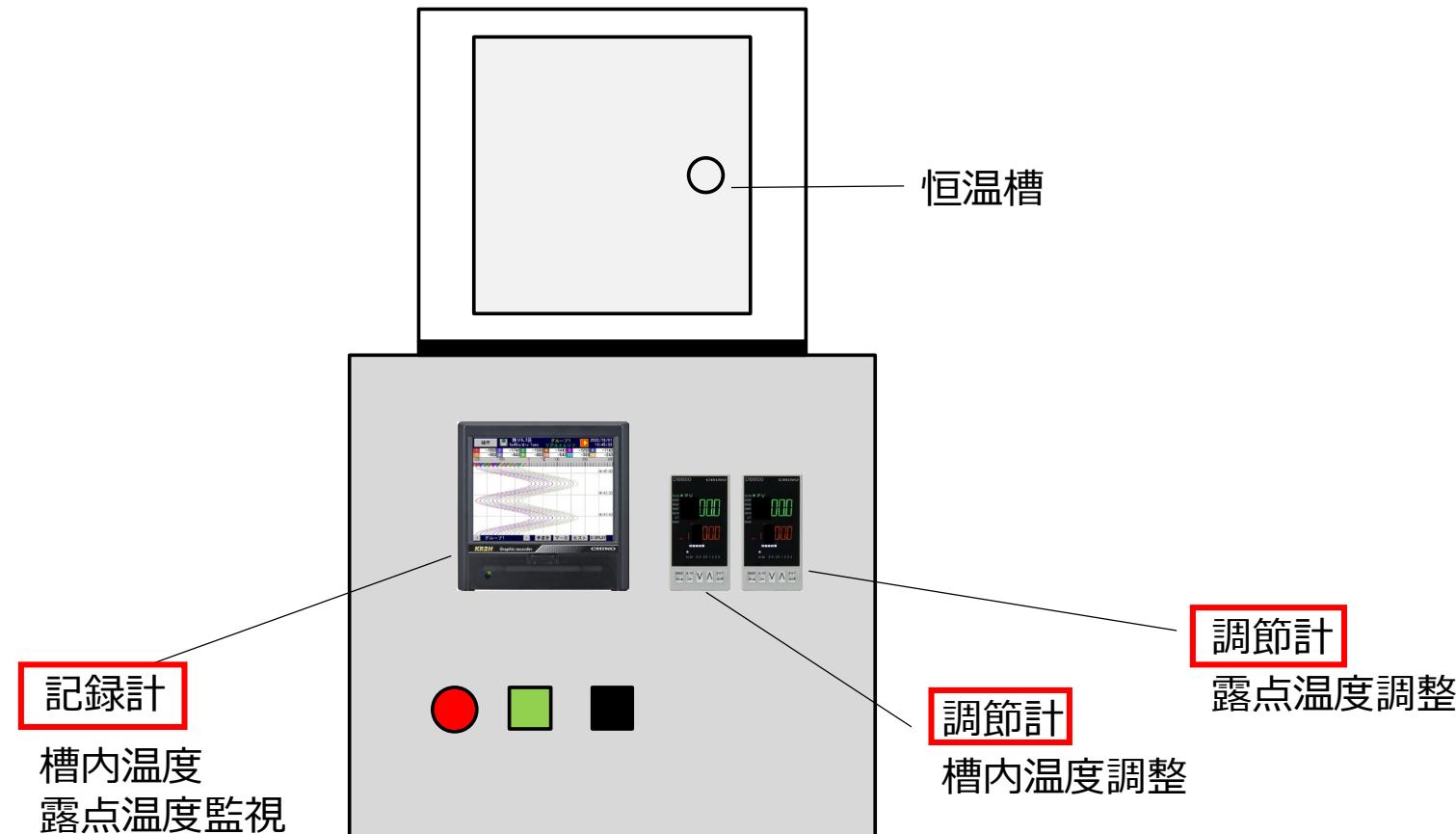
リチウムイオン電池（電気自動車に搭載）の製造工程では、当社の**赤外線計測技術**が不良品を検知しています。



 : 当社製品

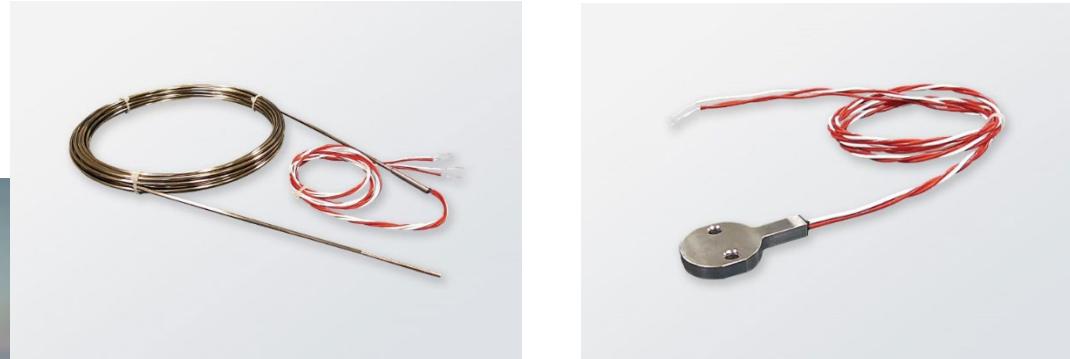
マイナス60°Cに保つ恒温槽（※）を実現し、次世代電気自動車の全固体電池の性能評価に貢献しています。

※特定の温度を一定に保つために設計された装置



水素関連（水素を「運ぶ」）

当社グループ（明陽電機（株））のセンサ技術により、液体水素（-253℃）を揺れが多い海上輸送において正確に温度管理することができます。



液体水素用温度センサ

概要

- ・液体水素輸送船向け超低温温度センサ
- ・長時間大きな揺れが続く海上でも、-253℃の温度を正確に計測
- ・海外から水素を日本に運搬する船に搭載

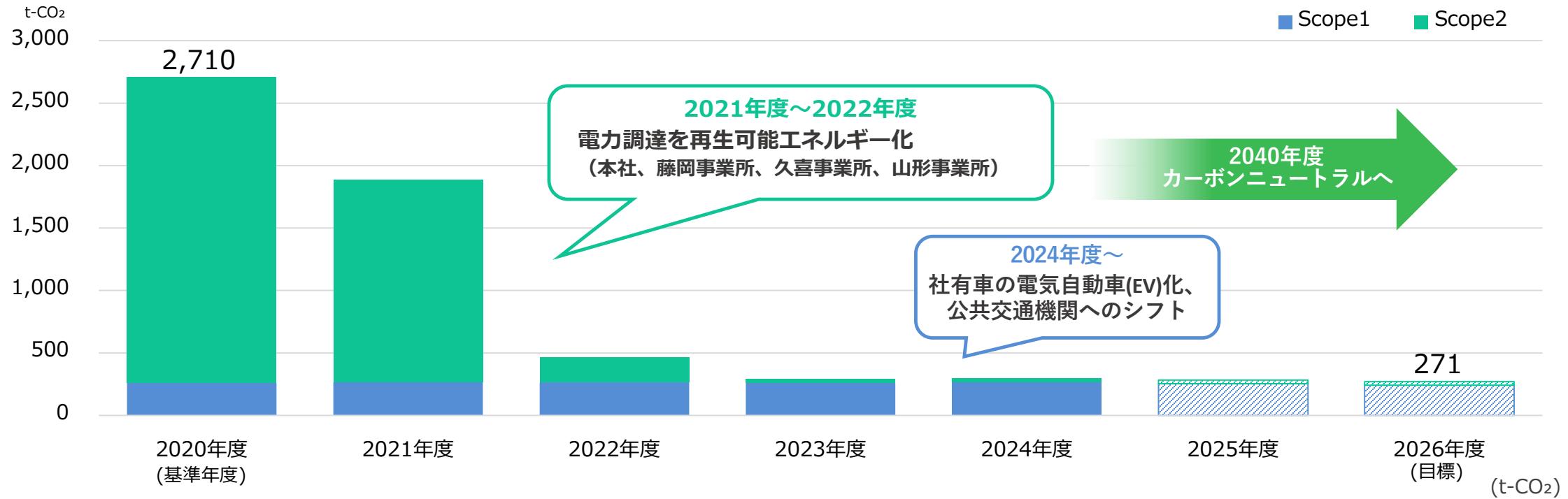
特長

- ・LH₂タンク内の液体水素（-253℃）に直接接触して温度測定可能
- ・貼り付けタイプ製品（固定しにくい場所に使用）

 : 明陽電機(株)製品

気候変動リスクへの取組み

温室効果ガス (GHG) 排出量Scope1、2(当社)と推移と主な削減取組み



GHG排出量	2020年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2026年度 (目標)
Scope1	261	266	265	260	285	
Scope2	2,449	1,621	196	31	29	
合計(Scope1、2)	2,710	1,887	461	290	313	271
削減率(2020年度比)	—	30.4%	83.0%	89.3%	88.5%	90.0%

チノービオトープフォレスト

2011年に環境問題に取り組むシンボルとして、また地域社会とのコミュニケーション拠点として群馬県内の里山を再現した「チノービオトープフォレスト」を整備致しました。希少種の生息域外保全をしたり、環境学習・体験学習を開催したりして、地域の環境活動に貢献しております。

チノービオトープフォレストの概要

面 積：約11,000m²

所在地：群馬県藤岡市

（チノー藤岡事業所内）

竣 工：2011年4月



地元小学生の環境学習
(ネイチャーゲームの様子)

◀
<参考動画>



<VR>



藤岡事業所の緑化推進運動が評価され 「内閣総理大臣表彰」を受賞

当社藤岡事業内における「チノービオトープフォレスト」などの工場緑化推進活動や地域貢献が評価され、2025年4月に「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

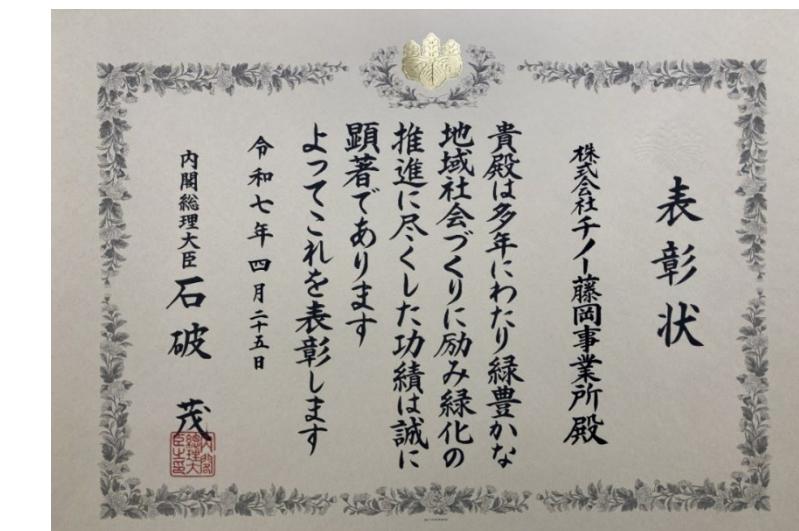
＜取組み＞

- ・群馬大学と各種環境調査（植物相モニタリング調査等）を継続実施
- ・高崎経済大学と連携し、ネイチャーゲーム等のオリジナルコンテンツによる環境学習を展開
- ・四季を通じた環境学習や当社社員が地元小学校へ出向いて出前授業などを開催
- ・地域社会とのコミュニケーションの場としてビオトープを開放（桜祭り、火曜日開放等）

＜主な受賞履歴＞

2025年 4月 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰

- 2022年11月 生物多様性保全活動賞
- 2019年10月 全国みどりの工場大賞経済産業大臣賞
- 2018年 9月 環境教育等における体験の機会の場
- 2016年10月 緑化優良工場等関東経済産業局長賞
- 2014年 8月 関東水と緑のネットワーク拠点百選
- 2013年11月 緑化優良工場等日本緑化センター会長賞



社会貢献活動

当社グループでは、次世代を担う子供たちを対象に科学の魅力に触れ、ものづくりや技術への興味を育む機会の場を提供しています。

科学実験教室



小学生を対象に「ペットボトルの中に雲を作ろう！」をテーマに身近な材料で空の不思議を楽しく体験する機会を提供しました。

中学生職場体験学習



地域の中学生を対象に、製造・事務体験や名刺作成、マナー講座などを通じて「働く」ことへの理解を深めるプログラムを実施しました。

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれています。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。